

# I ボディー

## BL ボディー・ロック・セキュリティー

作業上の注意	3	・リモコンエントリーチューナー点検	43
・注意事項	3	・構成部品点検	44
準備品	4	ドア	46
・特殊工具	4	・建付調整	46
・油脂類	4	・取り外し、取り付け	47
フード	5	・ドアウエザーストリップ	48
・建付調整	5	フロントドアロック	49
・フード ASSY の取り外し、取り付け	6	・構成図	49
・フードロックコントロールの取り外し、取り付け	7	・取り外し、取り付け	49
・フードロックコントロールの点検	8	・点検、調整	51
ラジエーターコアサポート	9	・分解、組み立て	51
・取り外し、取り付け	9	リヤドアロック	52
集中ドアロックシステム	11	・構成図	52
・システム概要	11	・ドアロック取り外し、取り付け	52
・構成部品取付位置	12	・点検、調整	53
・回路図	13	・分解、組み立て	54
・BCM 入出力信号基準値	13	バックドア	55
・故障診断の進め方	14	・建付調整	55
・診断前点検	14	・バックドア ASSY	55
・CONSULT- の機能	14	・バックドアオープナースイッチ	57
・現象別故障診断表	16	・バックドアストライカー	57
・集中ドアロックスイッチ系統点検	17	・バックドアクロージャークロージャーユニット	58
・運転席ドアロック検出スイッチ系統点検	18	・バックドアウエザーストリップの取り外し、取り付け	59
・ドアロックアクチュエーター系統点検	20	バックドアオートクロージャークロージャーシステム	60
・フューエルフィルターリッドオープナーアクチュエーター系統点検	21	・システム概要	60
リモートコントロールエントリーシステム	23	・構成部品取付位置	60
・システム概要	23	・回路図	61
・構成部品取付位置	25	・オートクロージャークロージャーコントロールユニット入出力信号基準値	61
・CAN 通信信号一覧	25	・診断前点検	62
・回路図	29	・現象別故障診断	62
・BCM 入出力信号基準値	30	・クロージャークロージャーコントロールユニット電源及びアース回路系統点検	62
・故障診断の進め方	31	・ハーフラッチスイッチ系統点検	63
・診断前点検	32	・クロージャークロージャーモーター系統点検	64
・CONSULT- の機能	33	・OPEN スwitch 系統点検	65
・現象別故障診断表	35	・CLOSE スwitch 系統点検	66
・運転席ドアロックアクチュエーター系統点検	36	・運転席ドアロック検出スイッチ系統点検	67
・キー差し込み検出スイッチ系統点検	36	ガラスハッチ	68
・ドアスイッチ系統 (ナビゲーションシステム無車)	38	・建付調整	68
・ドアスイッチ系統 (ナビゲーションシステム付車)	40	・ガラスハッチ ASSY	68
・リモコン系統	42	・ガラスハッチオープナースイッチ	69
		・ガラスハッチストライカー	69

---

・ガラスハッチロック & アクチュエーター ....	70	・構成部品取付位置 .....	72
・ガラスハッチウェザーストリップの取り外し、取り付け .....	70	・回路図 .....	72
ガラスハッチオープナーシステム .....	72	・故障診断 .....	72
・システム概要 .....	72	フューエルフィルターリッド .....	74
・作動概要 .....	72	・構成部品取付位置 .....	74

---

作業上の注意

PF0:00001

注意事項

JIS002MC

- 開閉部品脱着後は、必ず建付調整を行い、操作性を確認する。
- 各部位の給油状態及び損傷、摩耗状態を点検し、不足している場合は給油又は交換する。

A

B

C

D

E

F

G

H

BL

J

K

L

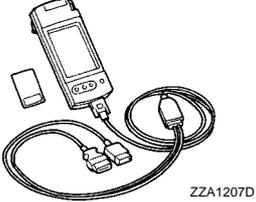
準備品

準備品

PF0:00002

特殊工具

JIS002MD

名称	用途
電子システム診断テスター CONSULT-II EG1187 0000 診断用プログラムカード EG1187 0100 (バージョン JJD01B)	 システム点検、診断用

油脂類

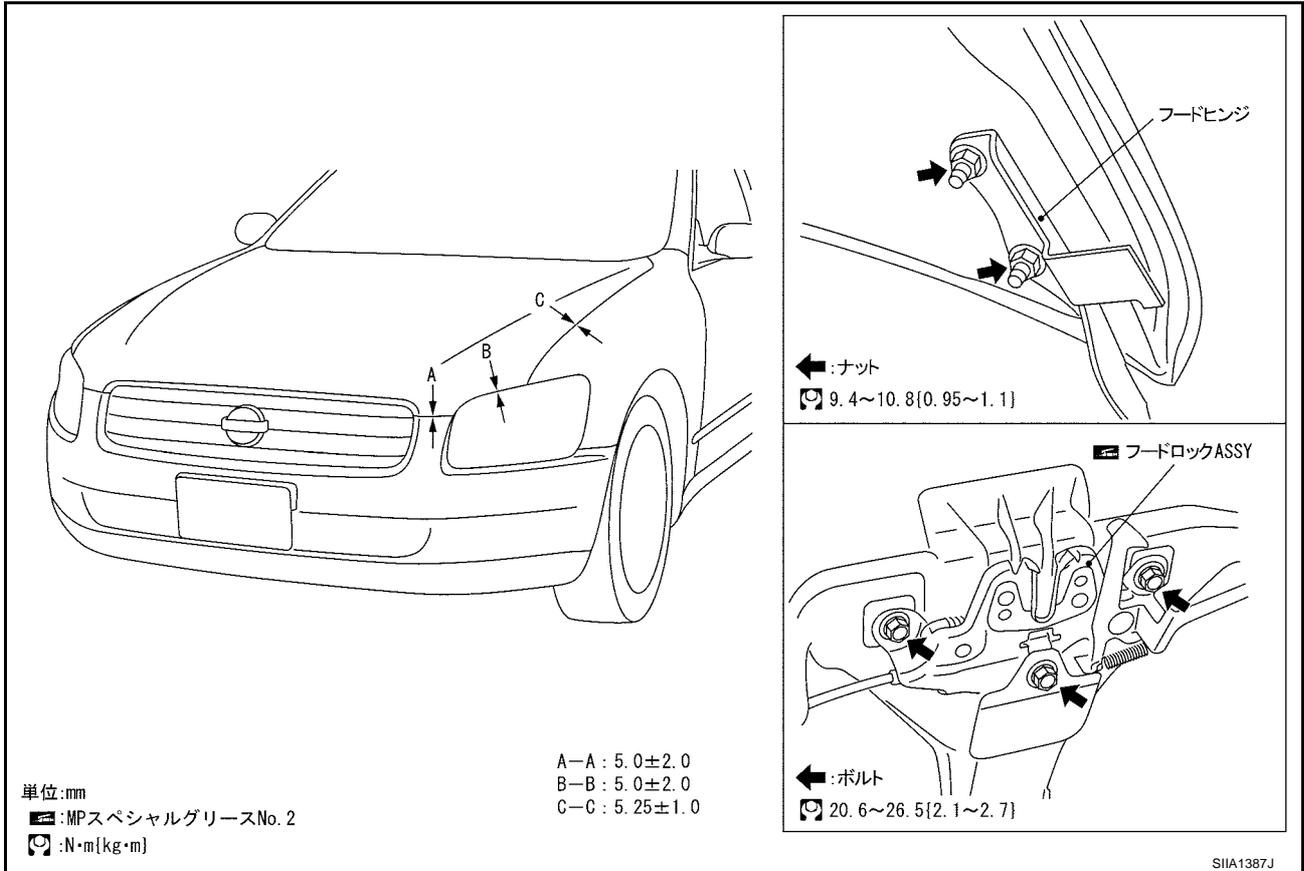
JIS002ME

名称	用途	備考
ポスシール KA430 89905 (170ml チューブ式) KA430 89906 (333ml カートリッジ式)	フードロックケーブルグロメットとダッシュロ アパネル合わせ部塗布	各日産部品販売会社
MP スペシャルグリース No.2 KRB00 12025 (2.5kg) KRB00 12016(16kg)	フードロック塗布	
防せいワックス M-97 スーパー (180ml スプレー式) KA390 18090	フードヒンジ、ドアヒンジ車体パネル合わせ部 塗布	
ボディグリース (300ml スプレー式) KRH05 00030	<ul style="list-style-type: none"> <li>• チェックリンクしゅう動部塗布</li> <li>• 各ヒンジ回転及びしゅう動部塗布</li> <li>• ドアロックラッチ、フードロックラッチ及びレ バースしゅう動部塗布</li> </ul>	

フード  
建付調整

PFY:65100

JIS002MF



前端部高さ調整、左右前後すき間調整

1. フードロックを外し、フードがフェンダーに対して1 ~ 1.5mm 低くなるようにバンパーラバーを回し、高さを調整する。
2. フードロックを仮止めし、ストライカーと噛み合わせて位置決めを行ない、ロックとストライカーのガタが無いことを確認後、ロック取付ボルトを規定トルクで締め付ける。

**注意:** フードと各部位のすき間は左右で以下の寸法差になるように調整すること。

フードとバンパーフェーシア (A)	: 2.0mm 以下
フードとヘッドランプ (B)	: 2.0mm 以下
フードとフェンダー (C)	: 1.0mm 以下

面差調整

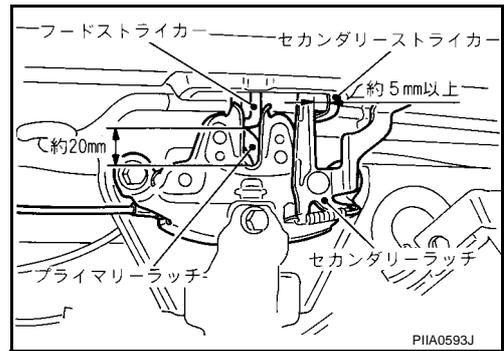
1. フードロックを外し、フードとフェンダーとの面差が建付基準寸法となるようバンパーラバー左右で調整する。
2. フードロックを取り付け、ストライカーとロックの中心が前方より見て、垂直線上になるようフードロックを左右に動かして調整する。

## フード

3. フードの自重（約 200mm の高さより自然落下させる）もしくはフードを軽く（3kg 程度）押してセカンダリーラッチがセカンダリーストライカーと確実に噛み合うか確認する。

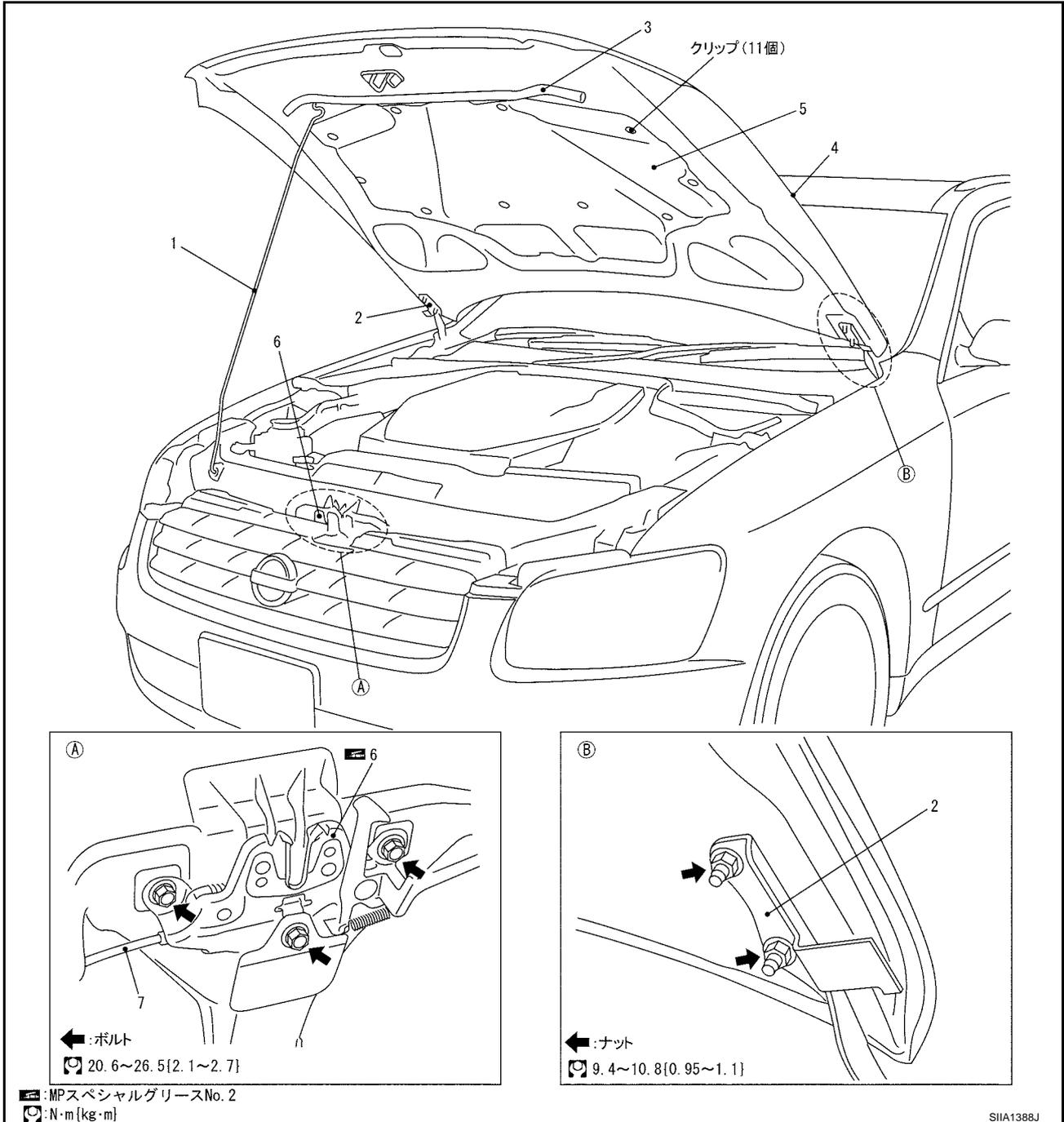
**注意：** 300mm 以上の高さより閉めないこと。

4. フードを閉じて、ストライカーとロックが確実に噛み合うように上下にフードロックを動かして調整する。
5. 調整後、ロック取付ボルトを規定トルクで締め付ける。



## フード ASSY の取り外し、取り付け

JIS002MG



MPスペシャルグリースNo. 2  
N·m {kg·m}

- |               |                  |                 |
|---------------|------------------|-----------------|
| 1. : フードステー   | 2. : フードヒンジ      | 3. : ラジオアシールラバー |
| 4. : フード ASSY | 5. : フードインシュレーター | 6. : フードロック     |

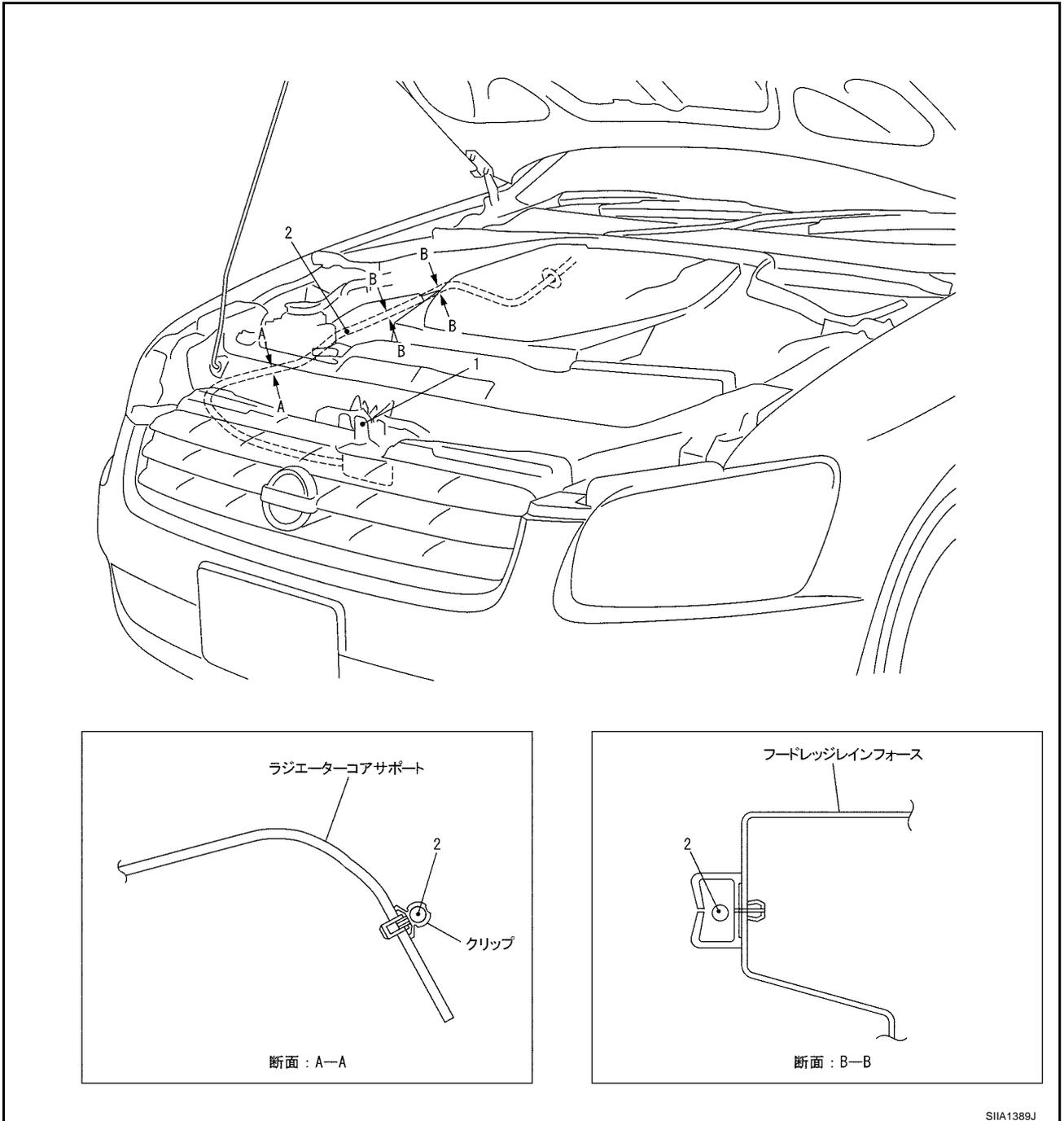
1. フード側ヒンジ取付ナットを外しフード ASSY を取り外す。

# フード

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

## フードロックコントロールの取り外し、取り付け

JIS002MH



### 取り外し

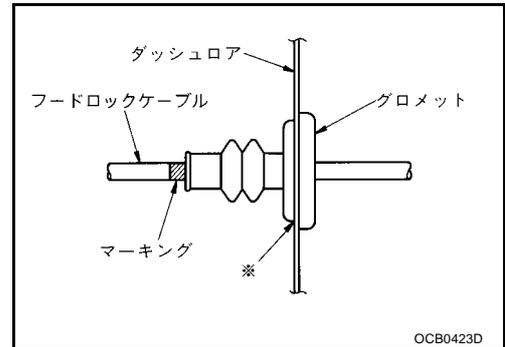
1. フロントグリルを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-12 ページ) 参照。
2. フェンダープロテクター (右) を取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-15 ページ) 参照。
3. フードロックからフードロックケーブルを外し、ラジコアサポートアッパー部及びフードレッジ部のクリップよりフードロックケーブルを外す。
4. インストロアドライバーパネル部のフードオープナーからフードロックケーブルを取り外す。
5. ダッシュ部のグロメットを外し、フードロックケーブルを室内側に抜く。

## フード

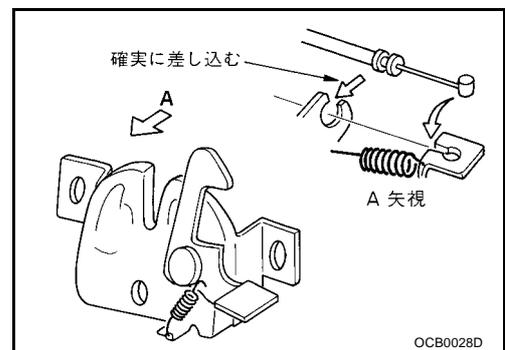
**注意：**引き抜くとき、車体穴でフードロックケーブルアウターに傷（皮ムケ）などを付けないように注意して行うこと。

### 取り付け

1. フードロックケーブルは極力曲げ R ( R100mm 以上 ) を大きくして引き込む。
2. 位置決めグロメットからずれていないか確認した後、グロメットをパネル穴に確実にはめ込む。
3. グロメット 印部にシーリング剤( ポスシール )を確実に塗布する。



4. ケーブルをロックに確実に取り付ける。
5. 取り付け後、フードロック調整及びフードオープナーの操作性を確認する。

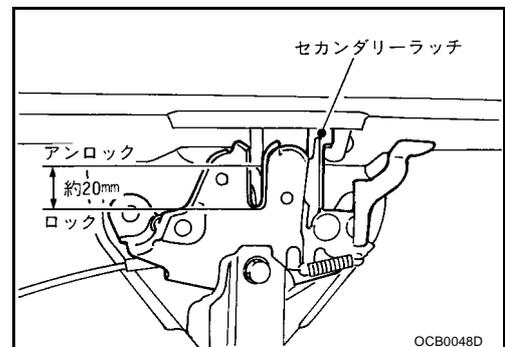


### フードロックコントロールの点検

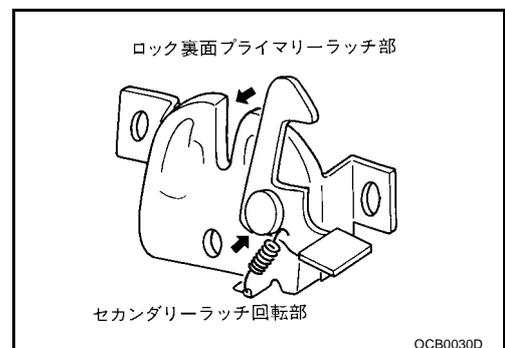
JIS002MI

**注意：**フードロックケーブルに折れ、変形があるときは交換する。

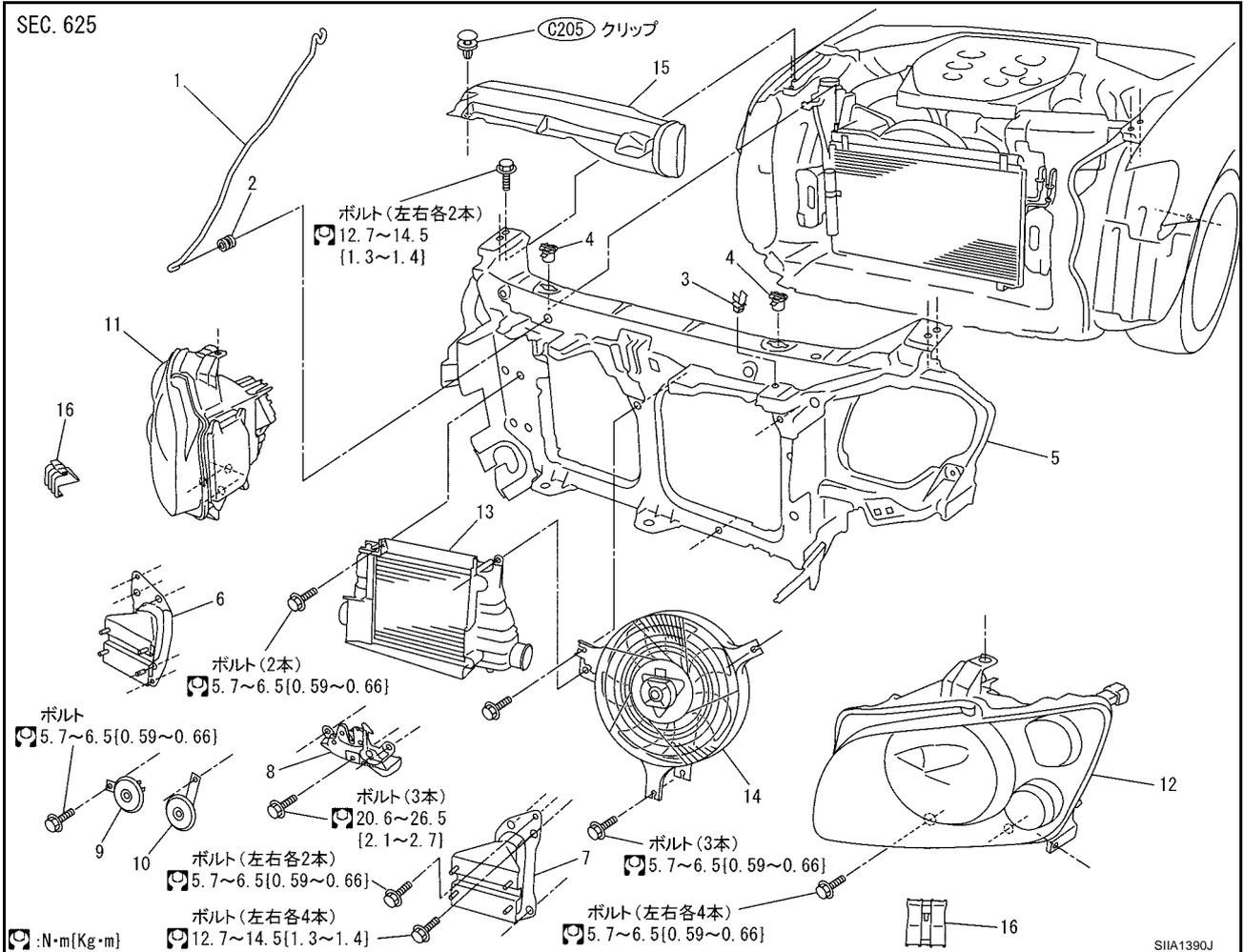
1. フード自重（約 200mm の高さより自然落下させる）のみでフードロックセカンダリーラッチが、セカンダリーストライカーと確実に噛み合うか確認する。
2. フードオープナーを静かに操作したとき、フード前端が約 20mm 程度、上がるか確認すること。また、フードオープナーが元の位置まで戻るか確認する。



3. フードロックの給油状態を点検し、不足しているときは図の箇所に「ボディグリース」を塗布する。



ラジエーターコアサポート  
取り外し、取り付け



- |                      |                   |                      |
|----------------------|-------------------|----------------------|
| 1. : フードステー          | 2. : グロメット        | 3. : フードロッドクランプ      |
| 4. : ラジエーターアップブラケット  | 5. : ラジエーターコアサポート | 6. : フロントバンパーステー (右) |
| 7. : フロントバンパーステー (左) | 8. : フードロック ASSY  | 9. : ホーン (Lo)        |
| 10. : ホーン (Hi)       | 11. : ヘッドランプ (右)  | 12. : ヘッドランプ (左)     |
| 13. : インタークーラー ASSY  | 14. : 電動ファン       | 15. : エアダクト          |
| 16. : フロントバンパークリップ   |                   |                      |

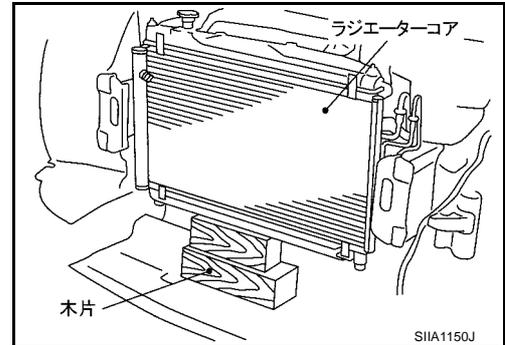
取り外し

1. フード ASSY を取り外す。「[フード ASSY の取り外し、取り付け](#)」(BL-6 ページ) 参照。
2. フロントバンパー、バンパーレインフォース及びバンパーステーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-7 ページ) 参照。
3. フードロック ASSY を外し、フードロックケーブルを取り外す。
4. ウォッシャータンクを取り外す。「WW ワイパー・ウォッシャー・ホーン」の「[フロントワイパー・ウォッシャータンクの取り外し、取り付け](#)」(WW-19 ページ) 参照。
5. ホーンのコネクターを外す。
6. ラジエーターコアサポート ASSY に固定されているハーネスのクリップを外し、ハーネスを分離する。
7. レゾネーター取付スクリューを取り外す。(ターボ車以外)
8. エアダクト及びウォッシャータンクインレットの固定クリップを取り外す。

## ラジエーターコアサポート

9. インタークーラーダクト IN 及び OUT を取り外す。(ターボ車のみ)
10. インタークーラー及び電動ファンを取り外す。(ターボ車のみ)
11. フロントバンパーリップを外し、ヘッドランプ(左右)を取り外す。「LT ライティングシステム」の「[取り外し、取り付け](#)」(LT-55 ページ) 参照。
12. ラジエーターアッパーブラケット及びラジエーターコアサポート ASSY 取付ボルトを外す。

**注意:** ラジエーター ASSY 下側に木片などを置いてラジエーター ASSY を保持し、落下を防止すること。



13. ラジエーターコアサポート ASSY を取り外す。
14. ラジエーターコアサポート ASSY 取り外し後、以下の部品を分離する。
  - フードステー、グロメット及びフードロッドクランプ
  - ホーン (Hi、Lo)

### 取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

集中ドアロックシステム

システム概要

JIS002MK

- BCM ( ボディコントロールモジュール ) の制御により、運転席ドアキーシリンダー、集中ドアロックスイッチ及び運転席ドアロックノブ操作による各席ドアの施錠 ( ロック ) 解錠 ( アンロック ) を可能とした。
- フューエルフィルターリッドロックは助手席、後席左右ドアロックと連動し、ドアロックが LOCK ( 施錠 ) 状態にある場合、フューエルフィルターリッドは開操作が不可能となり、ドアロックが UNLOCK ( 解錠 ) 状態でフューエルフィルターリッドの開操作が可能となる。

作動概要

操作		運転席ドア	助手席、 後席左右ドア	フューエルフィルターリッド 開操作	
運転席	キーシリンダー	解錠	←	←	可能
		施錠	←	←	不可能
	ドアロックノブ	解錠	←	←	可能
		施錠	←	←	不可能
助手席・後席左右	ドアロックノブ	解錠又は 施錠	連動せず	自席のみ解錠 ( 又は施錠 )	不可能
集中ドアロック SW ( パワーウインドーメイン SW 内 )		解錠	解錠	←	可能
		施錠	連動せず	施錠	不可能

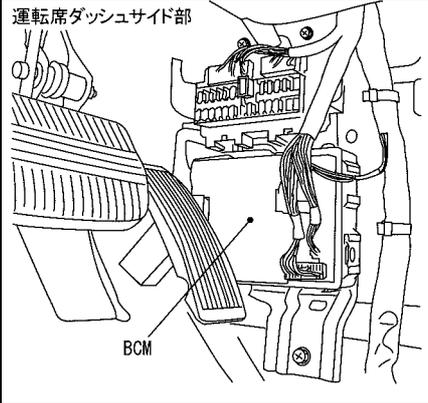
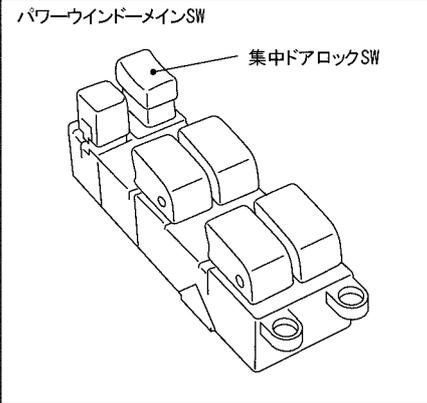
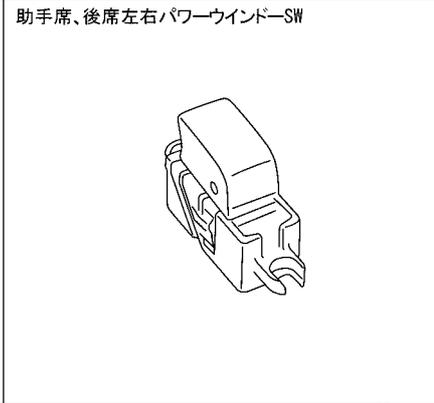
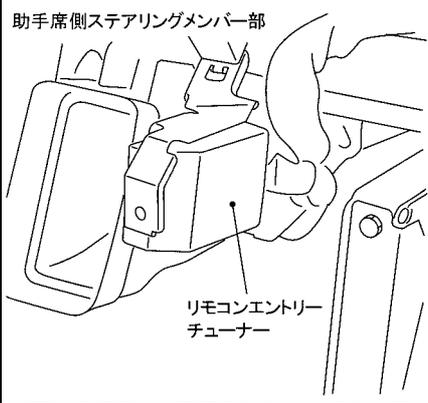
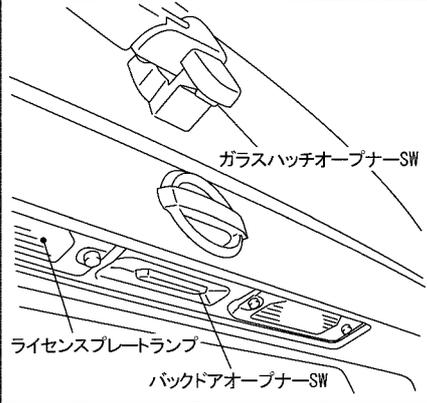
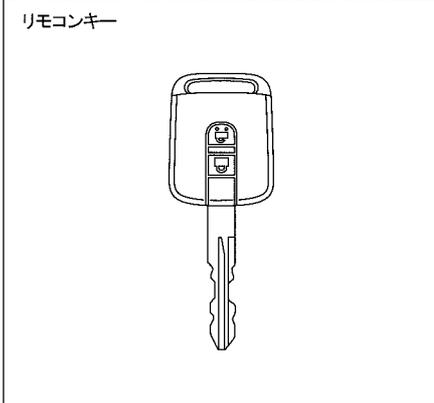
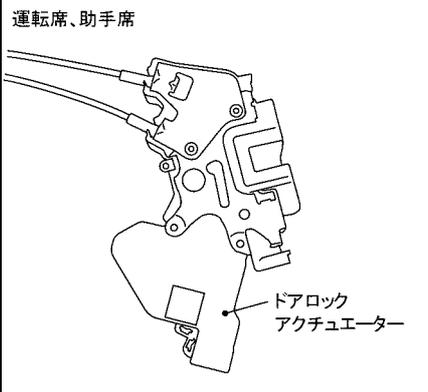
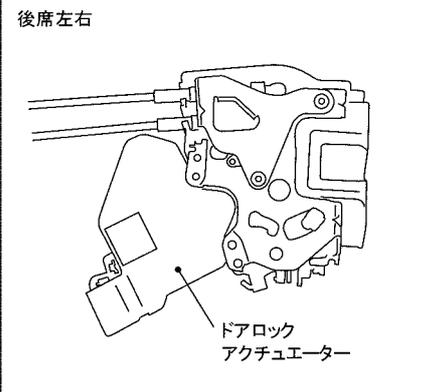
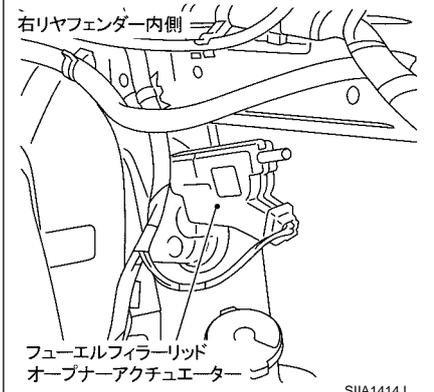
A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
J  
K  
L

BL

# 集中ドアロックシステム

## 構成部品取付位置

JIS002ML

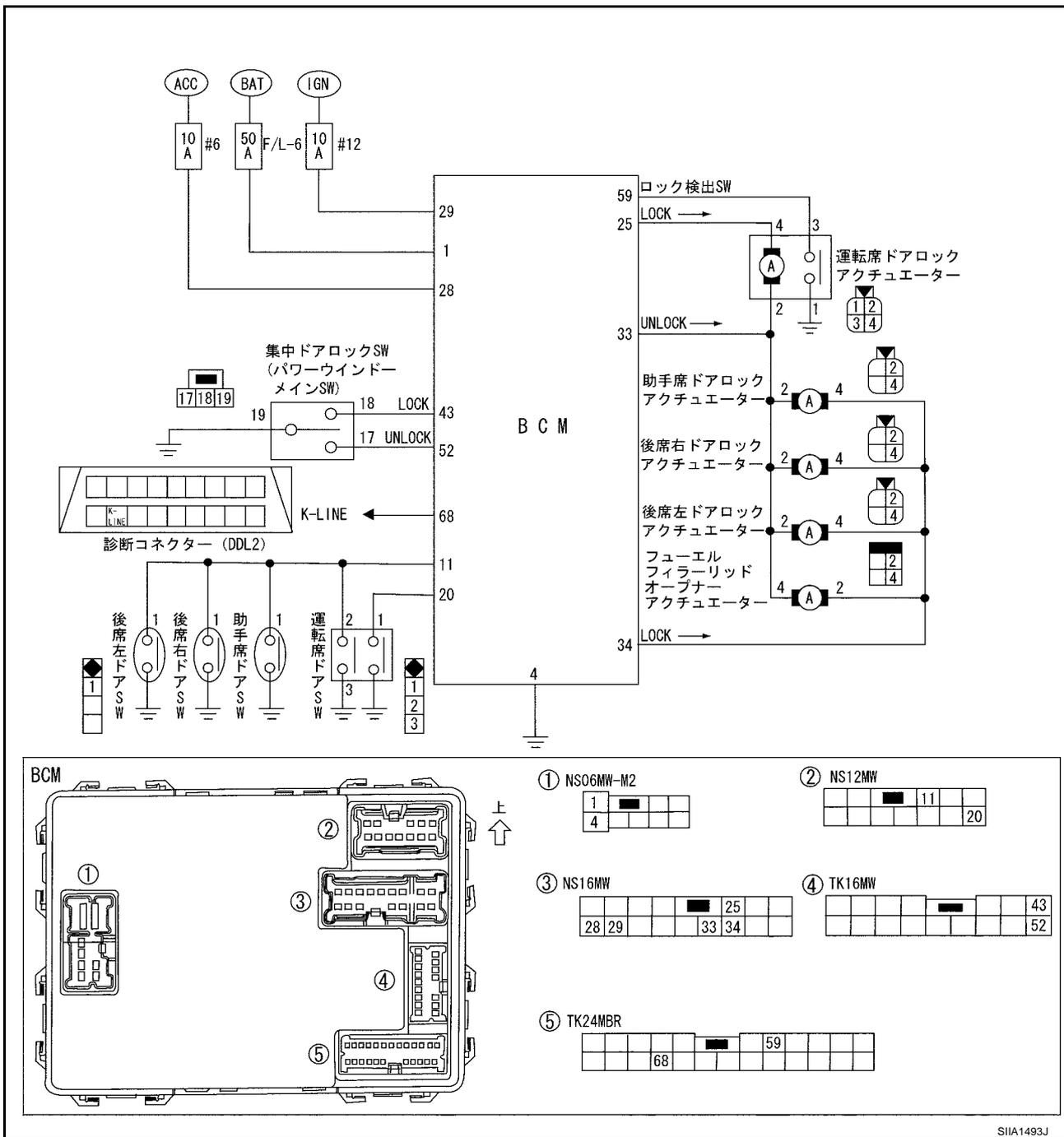
<p>運転席ダッシュサイド部</p>  <p>BCM</p>	<p>パワーウィンドーメインSW</p>  <p>集中ドアロックSW</p>	<p>助手席、後席左右パワーウィンドーSW</p> 
<p>助手席側ステアリングメンバー部</p>  <p>リモコンエントリーチューナー</p>	 <p>ガラスハッチオープナーSW</p>  <p>ライセンスプレートランプ バックドアオープナーSW</p>	<p>リモコンキー</p> 
<p>運転席、助手席</p>  <p>ドアロックアクチュエーター</p>	<p>後席左右</p>  <p>ドアロックアクチュエーター</p>	<p>右リヤフェンダー内側</p>  <p>フューエルフィラーリッド オープナーアクチュエーター</p>

SIIA1414J

# 集中ドアロックシステム

## 回路図

JIS002MM



A

B

C

D

E

F

G

H

BL

SIA1493J

## BCM 入出力信号基準値

JIS002MN

端子番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)
		キー SW	操作又は条件	
1	BAT 電源	OFF	—	約 12
4	アース	ON	—	約 0
25	運転席ドアロックアクチュエーター ロック出力信号	OFF	リモコンドアロック操作	約 0 → 約 12 → 約 0
			上記以外	約 0
28	ACC 電源	ACC	—	約 12
29	IGN 電源	ON	—	約 12

J

K

L

## 集中ドアロックシステム

端子番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)
		キー SW	操作又は条件	
33	全席ドアロックアクチュエーターアンロック出力信号	OFF	集中ドアロック SW ドアアンロック操作	約 0→約 12→約 0
			上記以外	約 0
34	各席ドアロックアクチュエーターロック出力信号	OFF	集中ドアロック SW ドアロック操作	約 0→約 12→約 0
			上記以外	約 0
43	集中ドアロック SW LOCK 信号	OFF	集中ドアロック SW LOCK SW : ON	約 5→約 0→約 5
			上記以外	約 5
52	集中ドアロック SW UNLOCK 信号	OFF	集中ドアロック SW UNLOCK SW : ON	約 5→約 0→約 5
			上記以外	約 5
59	運転席ドアロック検出 SW 信号	OFF	運転席ドアロック時 (SW : OFF)	約 5
			運転席ドアアンロック時 (SW : ON)	約 0

### 故障診断の進め方

JIS002MO

1. 故障現象又は、お客さまの要求を確認する。
2. システム概要を把握する。(BL-11) 参照。
3. 診断前点検を行う。(BL-14) 参照。
4. 現象別故障診断表から、不具合の原因を修理又は交換する。(BL-16) 参照。
5. 終了。

### 診断前点検

JIS002MP

#### BCM 電源ヒューズ点検

#### 1. ヒューズ点検

- BCM の下記ヒューズに溶断がないか点検する。

ユニット	端子番号	信号名称	ヒューズ番号
BCM	1	バッテリー電源	F/L-6
	28	ACC 電源	#6
	29	IGN 電源	#12

#### 点検結果は OK か？

- OK      正常  
NG      ヒューズを交換する。

### CONSULT- の機能

JIS002MQ

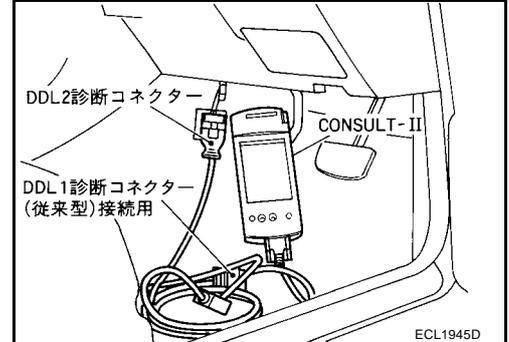
- BCM からの通信線によりデータの受信、指令の送信の組み合わせで、集中ドアロックシステムのデータモニタ、アクティブテストの点検が可能。

# 集中ドアロックシステム

IVMS 診断部位	点検項目、診断モード	内容
ドアロック	データモニタ	BCMの入力データをリアルタイムに表示する。
	アクティブテスト	ドアロックアクチュエーターに駆動信号を与え、作動点検ができる。

## CONSULT-Ⅱ の基本操作要領

1. キースイッチ OFF 状態で CONSULT-Ⅱ を車両側診断コネクタに接続し、キースイッチを ON にする。
2. [ 開始 ] をタッチする。



3. 「診断システム選択」画面で [ BCM ] をタッチする。



4. 「診断部位選択」画面で必要な診断部位を選択する。



## データモニタ

### 操作要領

1. 「診断部位選択」画面で [ ドアロック ] を選択する。
2. 「診断モード選択」画面で [ データモニタ ] をタッチする。
3. 「データモニタ」画面で [ 全項目 ] 又は [ 項目メニュー選択 ] をタッチする。

全項目	全項目をモニタする
項目メニュー選択	項目を選択しモニタする

4. “ 項目メニュー選択 ” の場合は、必要とするモニタ項目をタッチする。“ 全項目 ” の場合は全項目がモニタされる。
5. [ 開始 ] をタッチする。

## 集中ドアロックシステム

6. モニタ中に [ 記録開始 ] をタッチするとモニタ項目の状態を記録でき、記録中に [ 記録中止 ] をタッチすると記録を中止する。

### 表示項目

モニタ項目名 [ 操作又は単位 ]	表示内容
ロック SW DR/AS [ ON/OFF ]	集中ドアロック SW LOCK 信号から判断した「操作 ( ON ) / 開放 ( OFF )」状態を表示。
アンロック SW DR/AS [ ON/OFF ]	集中ドアロック SW UNLOCK 信号から判断した「操作 ( ON ) / 開放 ( OFF )」状態を表示。
ドア SW ALL [ ON/OFF ]	全席ドア SW 信号から判断した「ドア開 ( ON ) / ドア閉 ( OFF )」状態を表示。(ナビゲーションシステム付車は、コンビネーションメーターとの CAN 通信信号から判断)
ロックボタン SW [ ON/OFF ]	リモコンドアロックボタン信号から判断した「操作 ( ON ) / 非操作 ( OFF )」状態を表示。
アンロックボタン SW [ ON/OFF ]	リモコンドアアンロックボタン信号から判断した「操作 ( ON ) / 非操作 ( OFF )」状態を表示。
ロックケンシュツ SW DR [ LOCK/UNLOCK ]	ドアロック検出 SW DR 信号から判断した「ドアロック ( LOCK ) / アンロック ( UNLOCK )」状態を表示。
ドア SW DR [ ON/OFF ]	運転席ドア SW 信号から判断した「ドア開 ( ON ) / ドア閉 ( OFF )」状態を表示。(ナビゲーションシステム付車は、コンビネーションメーターとの CAN 通信信号から判断)
トランク SW [ ON/OFF ]	トランクルームランプ SW 信号から判断した「トランクリッド開 ( ON ) / トランクリッド閉 ( OFF )」状態を表示。

### アクティブテスト

#### 操作要領

1. 「診断部位選択」画面で [ ドアロック ] を選択する。
2. 「診断モード選択」画面で [ アクティブテスト ] をタッチする。
3. テストする項目をタッチし、作動を確認する。
4. 作動確認中、[ 停止 ] をタッチすると作動を停止する。

### 表示項目

項目	内容
ドアロック ( 他席 )	助手席、後席左右ドアロックアクチュエーターにドアロック駆動信号を送信し、ドアロックアクチュエーターの作動を点検する。
ドアロック ( DR )	運転席ドアロックアクチュエーターにドアロック駆動信号を送信し、ドアロックアクチュエーターの作動を点検する。
アンロック ( 全席 )	全席ドアロックアクチュエーターにドアアンロック駆動信号を送信し、全席ドアロックアクチュエーターの作動を点検する。

### 現象別故障診断表

JIS002MR

現象	不具合系統	参照先
集中ドアロック SW を操作しても全席ドアロック ( 運転席除く ) アンロック作動しない ( 運転席ドアロックノブ操作では作動する )	集中ドアロック系統	(BL-17)
	上記系統が正常な場合は、BCM を交換する	—
運転席ドアロックノブ操作しても助手席、後席左右のドアロック、アンロック作動がしない ( 集中ドアロック SW 操作では作動する )	運転席ドアロック検出 SW 系統	(BL-18)
	上記系統が正常な場合は、BCM を交換する	—

# 集中ドアロックシステム

現象	不具合系統	参照先
助手席、後席左右いずれかのドアロックが作動しない	ドアロックアクチュエーター系統	(BL-20)
フューエルフィルターリッドが開かない (助手席、後席左右ドアロックはアンロック状態)	フューエルフィルターリッドオープナーアクチュエーター系統	(BL-21)

## 集中ドアロックスイッチ系統点検

JIS002MS

### 1. 集中ドアロックスイッチ点検

④ データーモニター“ロック SW DR/AS”、“アンロック SW DR/AS”で集中ドアロック SW を操作し、ON-OFF することを確認する。「[データモニター](#)」(BL-15 ページ) 参照。

点検結果は OK か？

OK            BCM 不良  
NG            2 へ

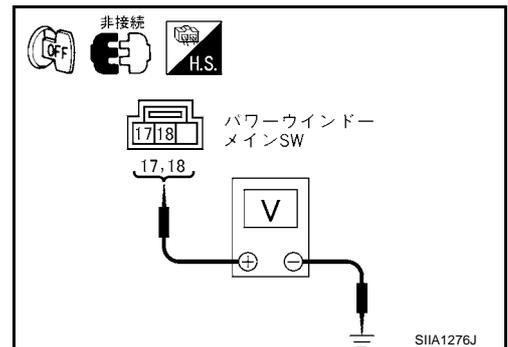
### 2. 集中ドアロックスイッチ信号点検

- キー SW を OFF 位置にする。
- パワーウィンドーメイン SW (集中ドアロック SW 内蔵) のコネクターを外す。
- パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクター 17、18 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

17 ~ ボディーアース            : 約 5V  
18 ~ ボディーアース            : 約 5V

点検結果は OK か？

OK            3 へ  
NG            4 へ



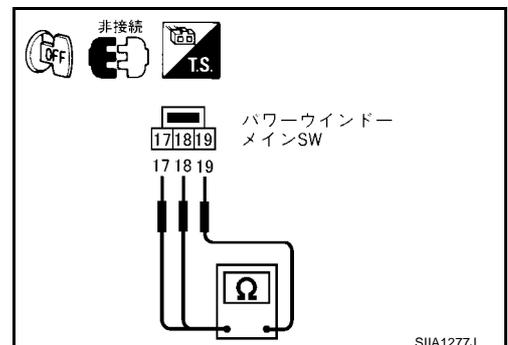
### 3. 集中ドアロックスイッチ作動点検

集中ドアロック SW を操作し、パワーウィンドーメイン SW コネクター 17、18 番端子 ~ 19 番端子間の導通を点検する。

集中ドアロック SW	端子		導通
	(+)	(-)	
LOCK SW 操作	17	19	なし
	18		あり
UNLOCK SW 操作	17	19	あり
	18		なし

点検結果は OK か？

OK            4 へ  
NG            パワーウィンドーメイン SW (集中ドアロック SW) 不良



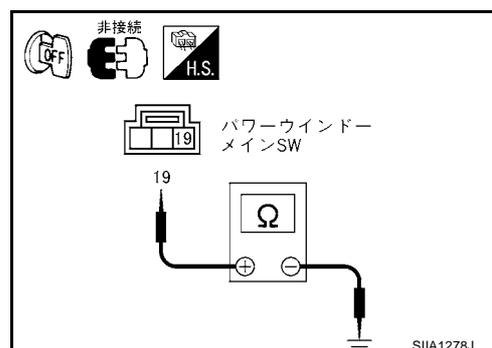
## 4. 集中ドアロックスイッチアース回路点検

パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 19 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

19 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

OK 5 へ  
 NG パワーウィンドーメイン SW (集中ドアロック SW) アース回路不良



## 5. 集中ドアロックスイッチ回路点検

1. BCM のコネクタを外す。
2. パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 17、18 番端子 ~ BCM 車両側コネクタ 43、52 番端子間のハーネス導通点検を行う。

17 ~ 52 : 導通あり

18 ~ 43 : 導通あり

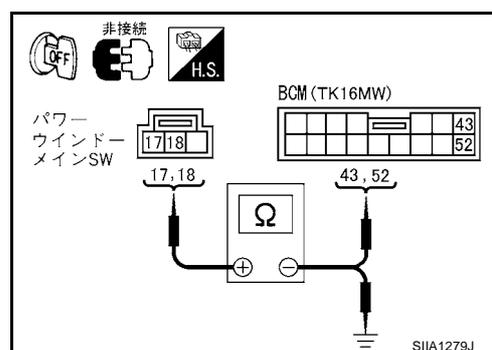
3. パワーウィンドーメイン SW 車両側コネクタ 17、18 番端子 ~ ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

17 ~ ボディーアース : 導通なし

18 ~ ボディーアース : 導通なし

点検結果は OK か？

OK BCM 不良  
 NG パワーウィンドーメイン SW (集中ドアロック SW) ~ BCM 間ハーネス不良



## 運転席ドアロック検出スイッチ系統点検

JIS002MT

### 1. 運転席ドアロック検出スイッチ点検

④ データモニタの“ロックケンシュツ SW DR”で運転席ドアロックノブを操作し、ON (UNLOCK) - OFF (LOCK) するか確認する。「[データモニタ](#)」(BL-15 ページ) 参照。

点検結果は OK か？

OK 正常  
 NG 2 へ

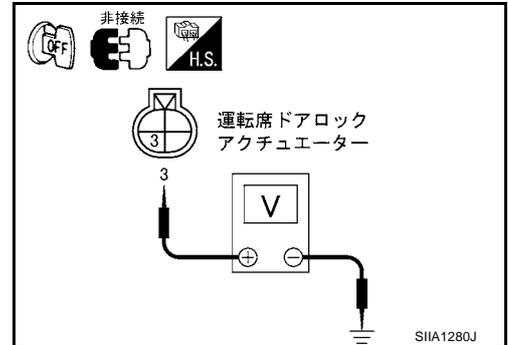
## 2. 運転席ドアロック検出スイッチ信号点検

1. キー SW を OFF 位置にする。
2. 運転席ドアロックアクチュエーターのコネクターを外す。
3. 運転席ドアロックアクチュエーター車両側コネクター 3 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

3 ~ ボディーアース : 約 5V

点検結果は OK か？

OK 3 へ  
NG 4 へ



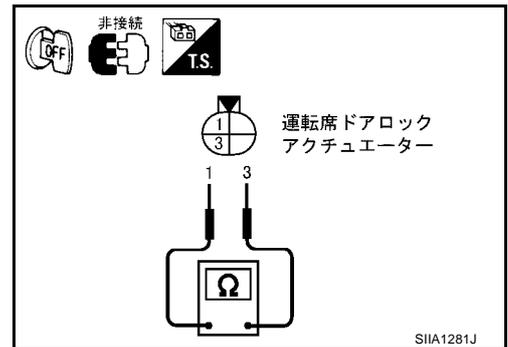
## 3. 運転席ドアロック検出スイッチ作動点検

運転席ドアロックノブを操作し、運転席ドアロックアクチュエーター車両側コネクター 1 番端子 ~ 3 番端子間の導通を点検する。

運転席ドアロックノブ	端子		導通
	(+)	(-)	
LOCK (SW : OFF)	3	1	なし
UNLOCK (SW : ON)			あり

点検結果は OK か？

OK 4 へ  
NG 運転席ドアロックアクチュエーター (ドアロック検出 SW) 不良



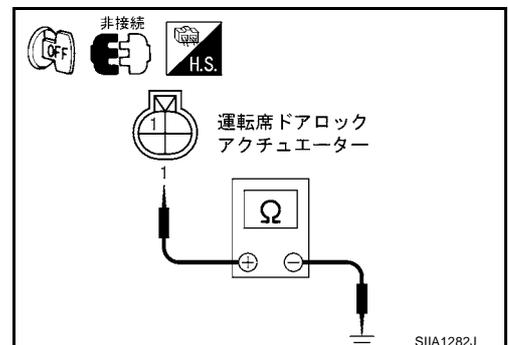
## 4. 運転席ドアロック検出スイッチアース回路点検

運転席ドアロックアクチュエーター車両側コネクター 1 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

1 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

OK 5 へ  
NG 運転席ドアロック検出 SW アース回路不良



## 5. 運転席ドアロック検出スイッチ回路点検

1. BCM のコネクタを外す。
2. 運転席ドアロックアクチュエーター車両側コネクタ 3 番端子 ~ BCM 車両側コネクタ 59 番端子間のハーネス導通点検を行う。

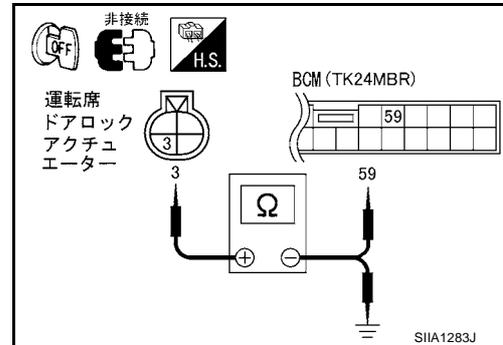
3 ~ 59 : 導通あり

3. 運転席ドアロックアクチュエーター車両側コネクタ3番端子 ~ ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

3 ~ ボディーアース : 導通なし

点検結果は OK か？

- |    |  |
|----|--|
| OK | BCM 不良                                     |
| NG | 運転席ドアロックアクチュエーター（ドアロック検出 SW） ~ BCM 間ハーネス不良 |



## ドアロックアクチュエーター系統点検

JIS002MU

### 1. ドアロックアクチュエーター点検

アクティブテストの“ドアロック（他席）”、“アンロック（全席）”でドアロックアクチュエーターの作動を確認する。[「アクティブテスト」\(BL-16 ページ\)](#) 参照。

点検結果は OK か？

- |    |     |
|----|-----|
| OK | 正常  |
| NG | 2 へ |

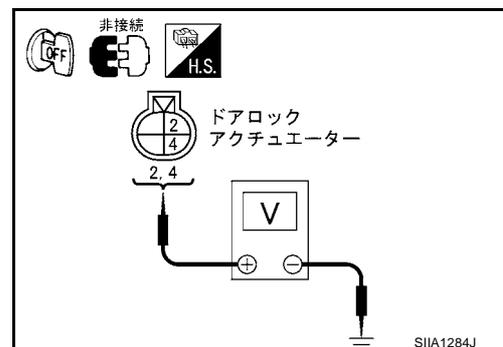
### 2. ドアロックアクチュエーター信号点検

1. キー SW を OFF 位置にする。
2. ドアロックアクチュエーターのコネクタを外す。
3. 集中ドアロック SW を操作し、ドアロックアクチュエーター車両側コネクタ 2、4 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

集中ドアロック SW	端子		電圧
	( + )	( - )	
LOCK SW : ON	2	ボディーアース	約 0 → 約 12 → 約 0
UNLOCK SW : ON	4	ボディーアース	約 0 → 約 12 → 約 0

点検結果は OK か？

- |    |                 |
|----|-----------------|
| OK | ドアロックアクチュエーター不良 |
| NG | 3 へ             |



### 3. ドアロックアクチュエーター回路点検

1. BCM のコネクタを外す。
2. ドアロックアクチュエーター車両側ハーネスコネクタ 2、4 番端子 ~ BCM 車両側コネクタ 33、34 番端子間のハーネス導通点検を行う。

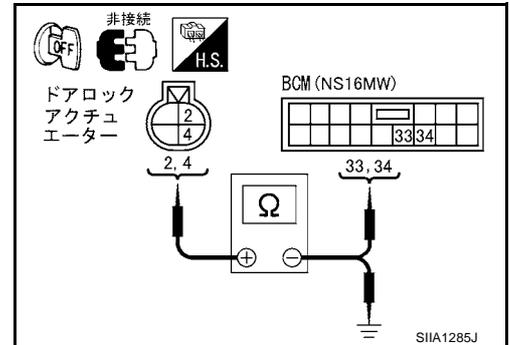
2 ~ 33 : 導通あり  
4 ~ 34 : 導通あり

3. ドアロックアクチュエーター車両側ハーネスコネクタ 2、4 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

2 ~ ボディーアース : 導通なし  
4 ~ ボディーアース : 導通なし

点検結果は OK か？

- OK ハーネス及びコネクタ接続状態を点検する。  
NG ドアロックアクチュエーター ~ BCM 間ハーネス不良



### フューエルフィルターリッドオープナーアクチュエーター系統点検

JIS002MV

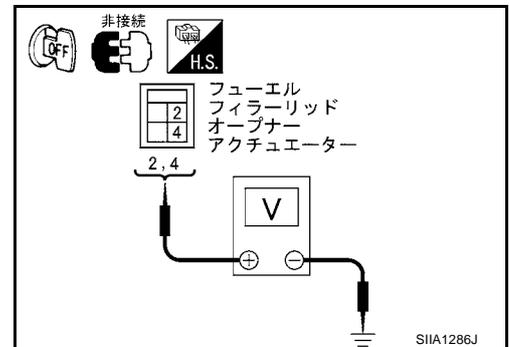
#### 1. ドアロックアクチュエーター信号点検

1. キー SW を OFF 位置にする。
2. フューエルフィルターリッドオープナーアクチュエーターのコネクタを外す。
3. 集中ドアロック SW を操作し、フューエルフィルターリッドオープナーアクチュエーター車両側コネクタ 2、4 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

集中ドアロック SW	端子		電圧
	(+)	(-)	
LOCK SW : ON	2	ボディーアース	約 0 → 約 12 → 約 0
UNLOCK SW : ON	4	ボディーアース	約 0 → 約 12 → 約 0

点検結果は OK か？

- OK フューエルフィルターリッドオープナーアクチュエーター不良  
NG 2へ



A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
J  
K  
L

BL

## 2. フューエルフィルターリッドオープナーアクチュエーター回路点検

1. BCM のコネクタを外す。
2. フューエルフィルターリッドオープナーアクチュエーター車両側コネクタ-2、4 番端子 ~ BCM 車両側コネクタ-33、34 番端子間のハーネス導通点検を行う。

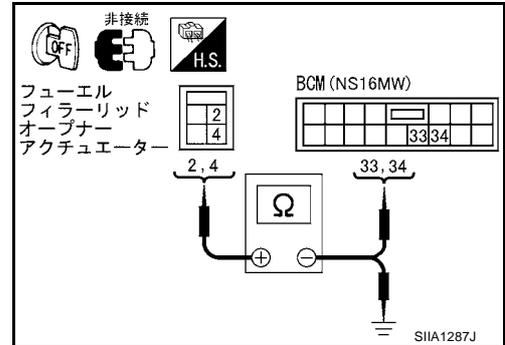
2 ~ 33 : 導通あり  
4 ~ 34 : 導通あり

3. フューエルフィルターリッドオープナーアクチュエーター車両側コネクタ-2、4 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

2 ~ ボディーアース : 導通なし  
4 ~ ボディーアース : 導通なし

### 点検結果は OK か？

- OK 各コネクタハウジングの損傷、ゆるみ、接触不良等を点検する。
- NG フューエルフィルターリッドオープナーアクチュエーター ~ BCM 間ハーネス不良



## リモートコントロールエントリーシステム

PF2:28596

### システム概要

JIS002MW

- リモコン操作により送信機から電波を送り、リモコンエントリーチューナーが受信し、受信した電波を BCM (ボディコントロールモジュール) に送信し、ID 番号が一致した場合のみドアロック及びフューエルフィルターリッド解錠、施錠を行う。
- 万一、リモコンを紛失した場合でも新しいリモコンの再登録を可能とし、最高 5 個まで登録できる。
- 作動確認機能により、リモコン操作時ハザードランプが点滅する。
- キー差し込み検出 SW が OFF でいずれかのドアが開いているとき(半ドア状態) リモコンでドアロック操作を行ってもドアロック機能は作動しない。
- キー操作によるリモコン ID の登録を可能とした。
- CONSULT- により作動確認機能及びオートロック機能の設定を変更可能とした。
- 各ドアの状態 (ドア SW:ON 又は OFF) 及びリモコン操作時のハザードランプ点滅時の表示制御は BCM とコンビネーションメーターの CAN 通信 (H 線、L 線) により行われる。

### 作動条件

リモコン操作	作動条件
ドアロック操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>• キー差し込み検出 SW OFF (キー抜き状態)</li> <li>• 全席ドア閉 (ドア SW : OFF)</li> </ul>
ドアアンロック操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>• キー差し込み検出 SW OFF (キー抜き状態)</li> </ul>

### リモコン作動範囲

- 確実に作動させるにはドアキーシリンダー部 (ドアロック、ドアアンロック作動要求時) 又は、トランクキーシリンダー部 (トランク作動要求時) から約 1m の範囲である。ただし、周囲の状況により作動範囲が変化することがある。
- 注意:** リモートコントロールエントリーシステムを装備した 2 台の日産車が並び、同時にリモコン操作をしたときリモコン機能が不動作となる場合がある。

### オートロック機能

リモコンによりドアアンロック操作を行い、その後約 30 秒以内に IGN キーシリンダーにキーが差し込まれない、いずれかのドア又はトランクリッドを開けない、リモコン操作が無い場合、全席ドアロックが自動的にロック (施錠) する。

### 作動確認機能

リモコン操作によるドアロック / アンロック時、作動確認としてハザードランプが点滅する。

リモコン操作	ターンシグナルランプ
ドアロック	1 回点滅
ドアアンロック	2 回点滅

### 設定変更機能

CONSULT- (作業サポート) により作動確認機能及びオートロック機能の設定を変更可能とした。

#### キーレスモード設定

- 作動確認機能の ON (作動) 又は、OFF (非作動) を選択することができる。

#### オートロック制御設定

- オートロック機能のモード (作動時間) 変更又は、非作動 (OFF) を選択することができる。

参考: 各機能の設定を変更すると、バッテリーを外しても変更後の設定状態となる。

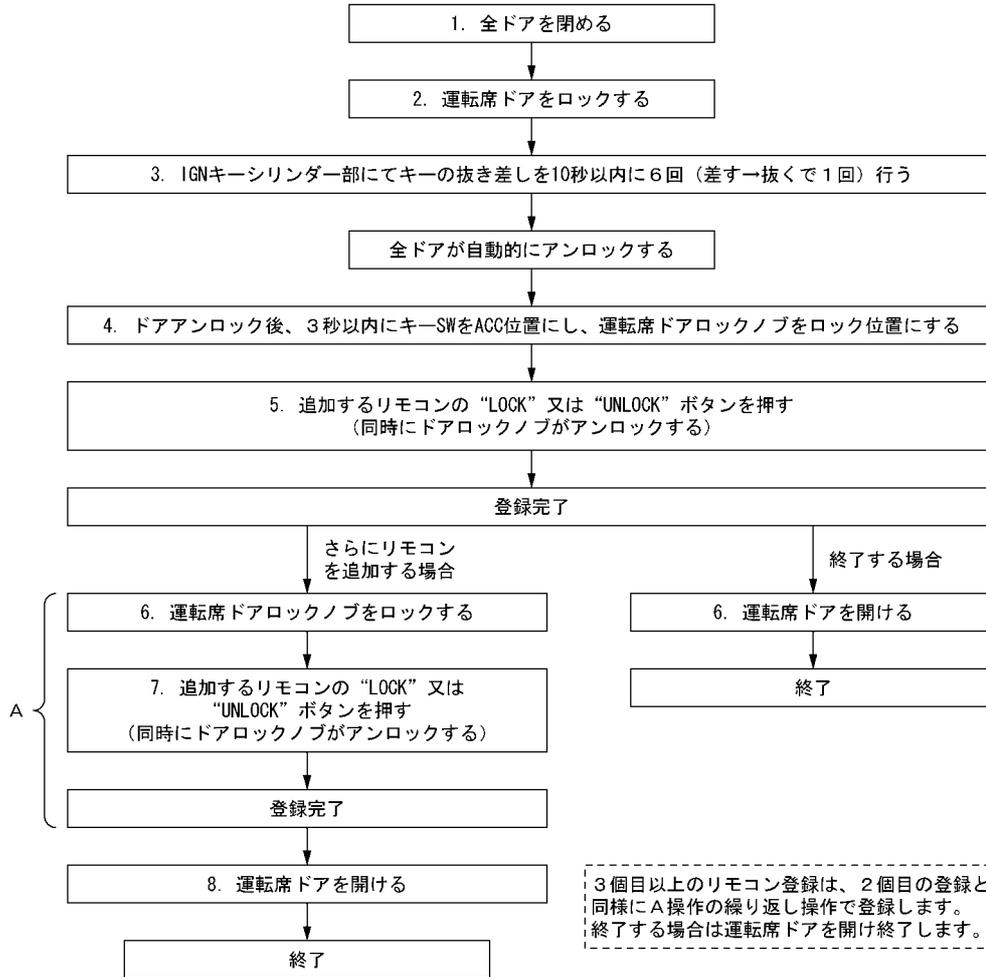
### リモコン登録

リモコン ID 登録は、キーの抜き差しで行い、最大 5 個まで登録が可能。

# リモートコントロールエントリーシステム

**注意:** 新しくリモコンを登録した場合は必ず作動確認を行うこと。

## キー操作によるリモコン ID 登録

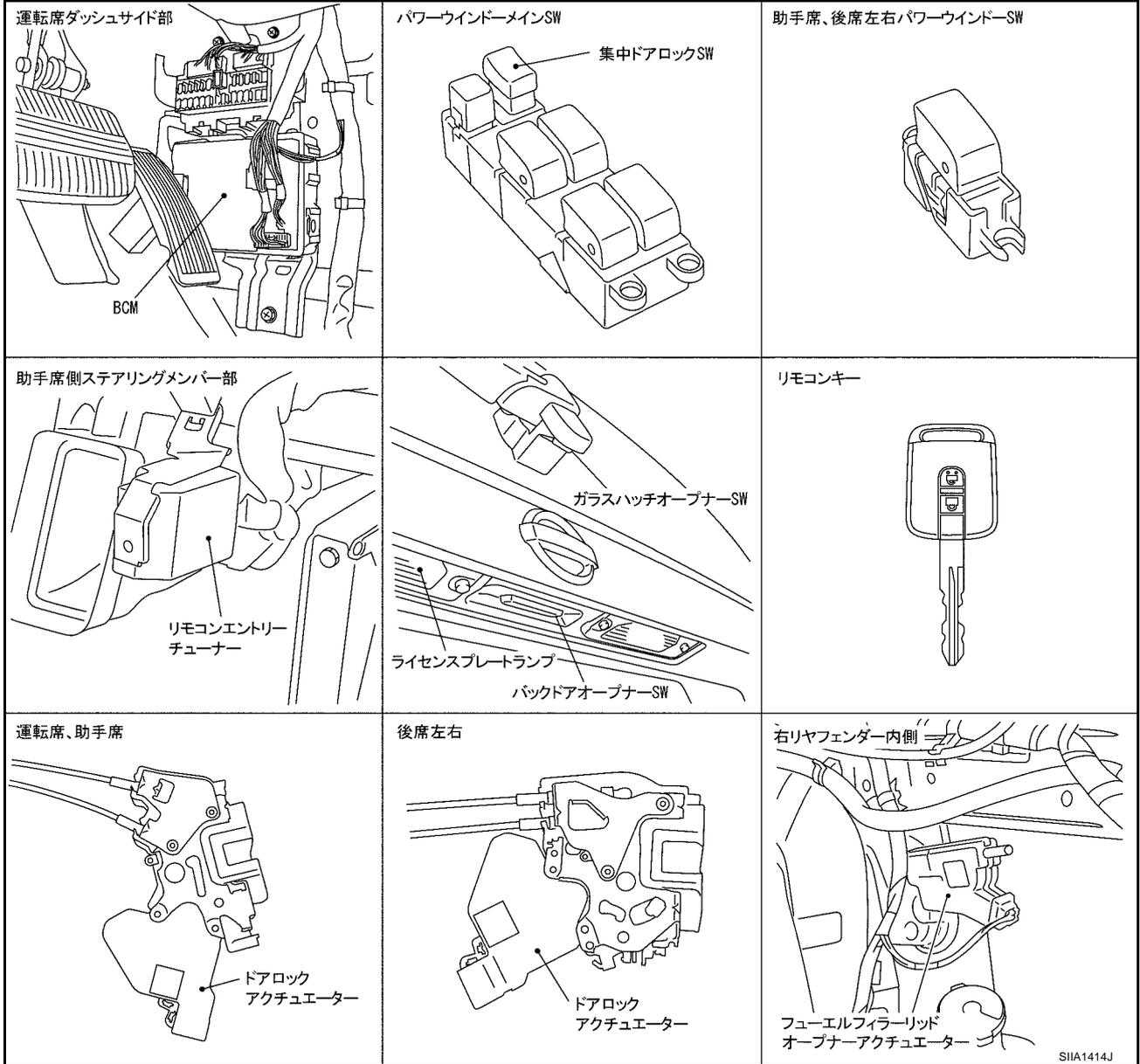


BF-2140D

# リモートコントロールエントリーシステム

## 構成部品取付位置

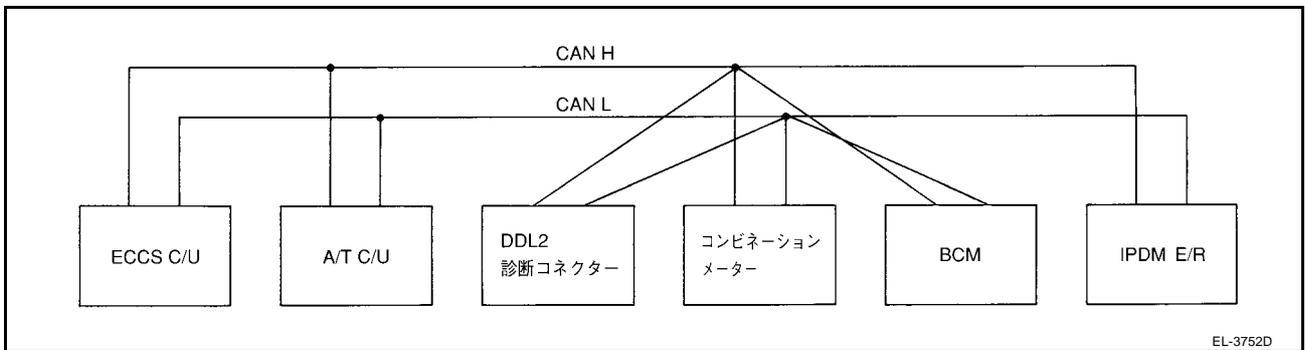
JIS002MX



## CAN 通信信号一覧

JIS0037C

### VQ25DD 車



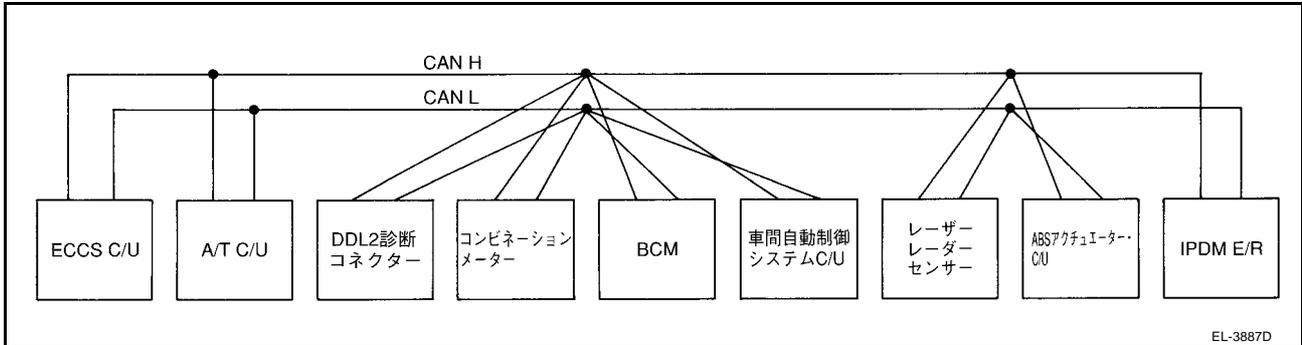
: 送信 : 受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	IPDM E/R
ドア SW (ナビ付)					
ドア SW (ナビ無)					

## リモートコントロールエントリーシステム

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	IPDM E/R
ターンシグナル表示信号					
バックドア信号					

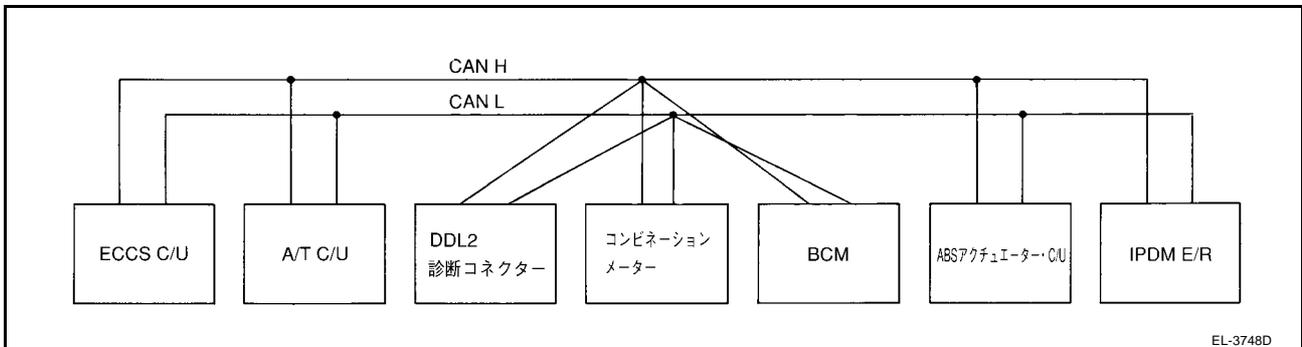
### VQ25DD + 車間自動制御システム付車



: 送信 : 受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	車間自動制御システムC/U	レーザーレーダーセンサー	ABS アクチュエーター・C/U	IPDM E/R
ドア SW (ナビ付)								
ドア SW (ナビ無)								
ターンシグナル表示信号								
バックドア信号								

### VQ30DD 車

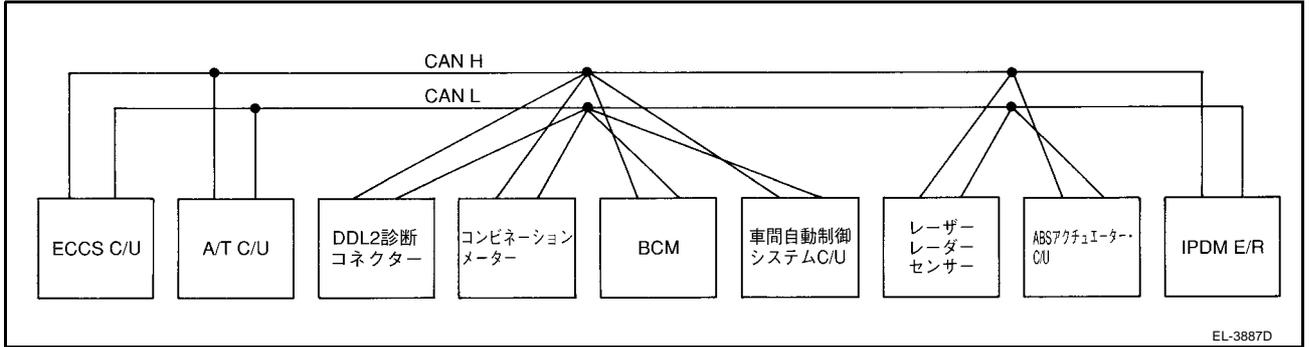


: 送信 : 受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	ABS アクチュエーター・C/U	IPDM E/R
ドア SW (ナビ付)						
ドア SW (ナビ無)						
ターンシグナル表示信号						
バックドア信号						

# リモートコントロールエントリーシステム

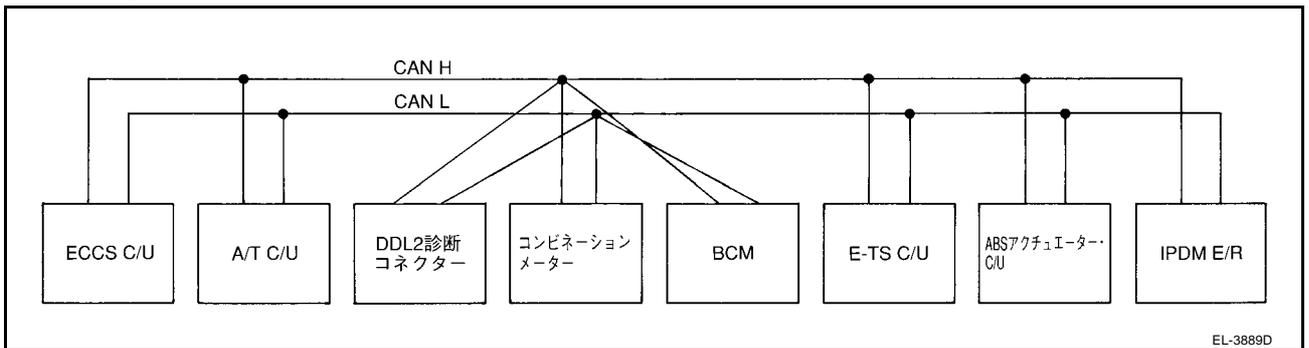
## VQ30DD + 車間自動制御システム付車



:送信 :受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	車間自動制御システムC/U	レーザーレーダーセンサー	ABSアクチュエーター・C/U	IPDM E/R
ドア SW (ナビ付)								
ドア SW (ナビ無)								
ターンシグナル表示信号								
バックドア信号								

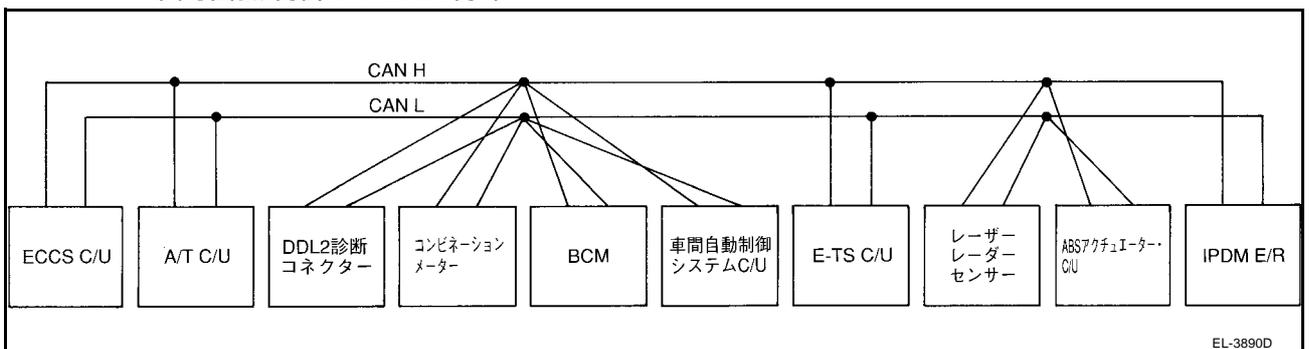
## 4WD 車



:送信 :受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビネーションメーター	BCM	E-TS C/U	ABSアクチュエーター・C/U	IPDM E/R
ドア SW (ナビ付)							
ドア SW (ナビ無)							
ターンシグナル表示信号							
バックドア信号							

## 4WD + 車間自動制御システム付車



EL-3890D

# リモートコントロールエントリーシステム

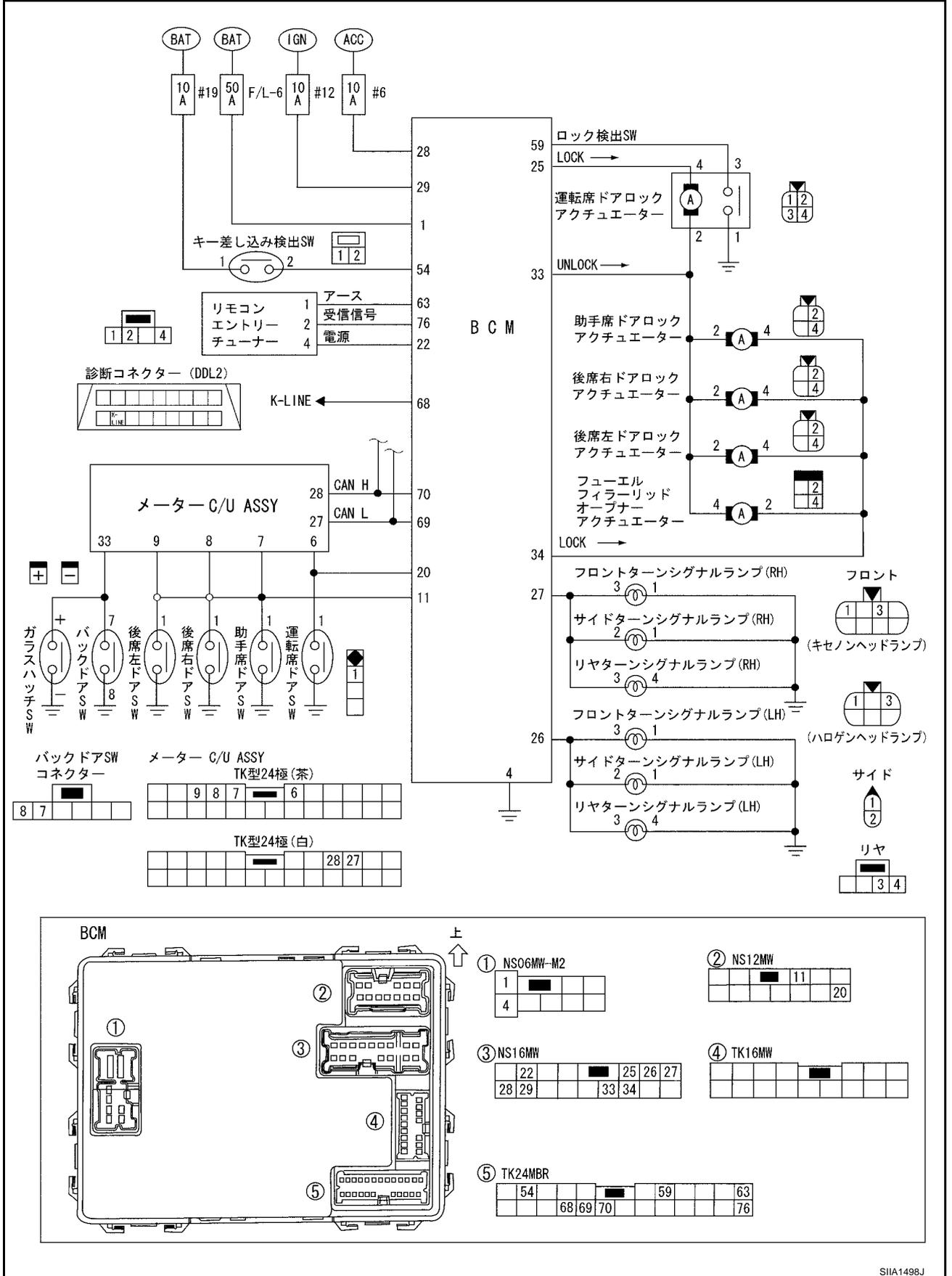
: 送信    : 受信

主な信号名称 / 接続ユニット	ECCS C/U	A/T C/U	コンビ ネー ション メー ター	BCM	車間自 動制御 システ ム C/U	E-TS C/U	レーザ ー レーダ ー センサ ー	ABS アク チュエー ター・C/ U	IPDM E/R
ドア SW (ナビ付)									
ドア SW (ナビ無)									
ターンシグナル表示信号									
バックドア信号									

# リモートコントロールエントリーシステム

## 回路図

JIS02MY

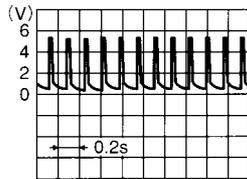
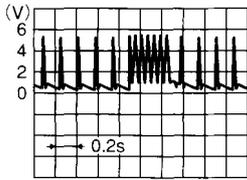
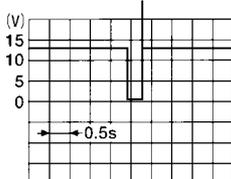
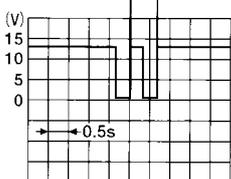


A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
BL  
J  
K  
L

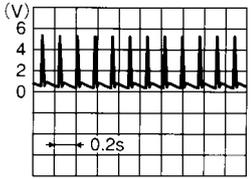
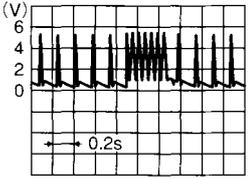
# リモートコントロールエントリーシステム

## BCM 入出力信号基準値

JIS002MZ

端子番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)
		キー SW	操作又は条件	
1	BAT 電源	OFF	—	約 12
4	アース	ON	—	約 0
11*	全席ドア SW 信号	OFF	いずれかのドア開 (SW : ON)	約 0
			全席ドア閉 (SW : OFF)	約 12
20	運転席ドア SW 信号	OFF	運転席ドア開 (SW : ON)	約 0
			運転席ドア閉 (SW : OFF)	約 12
22	リモコンエントリーチューナー電源	キー抜き	受信待機状態	 OCC3881D
			リモコン SW いずれかを操作	 OCC3880D
		ON	—	約 0
25	運転席ドアロックアクチュエーターロック出力信号	OFF	リモコンドアロック操作	約 0 → 約 12 → 約 0
			上記以外	約 0
26、27	ターンシグナルランプ信号	OFF	リモコンでドアロック (点滅: 1 回)	 ELN0504D
			リモコンでドアアンロック (点滅: 2 回)	 ELN0505D
28	ACC 電源	ACC	—	約 12
29	IGN 電源	ON	—	約 12
33	全席ドアロックアクチュエーターアンロック出力信号	OFF	集中ドアロック SW ドアアンロック操作	約 0 → 約 12 → 約 0
			上記以外	約 0
34	各席ドアロックアクチュエーターロック出力信号	OFF	集中ドアロック SW ドアロック操作	約 0 → 約 12 → 約 0
			上記以外	約 0
43	集中ドアロック SW LOCK 信号	OFF	集中ドアロック SW LOCK SW : ON	約 5 → 約 0 → 約 5
			上記以外	約 5

# リモートコントロールエントリーシステム

端子番号	信号名称	測定条件		基準値 (V)
		キー SW	操作又は条件	
52	集中ドアロック SW UNLOCK 信号	OFF	集中ドアロック SW UNLOCK SW : ON	約 5→約 0→約 5
			上記以外	約 5
54	キー差し込み検出 SW 信号	—	キーを IGN キーシリンダーに差し込む	約 12
			キーを IGN キーシリンダーから抜く	約 0
59	運転席ドアロック検出 SW 信号	OFF	運転席ドアロック時 (SW : OFF)	約 5
			運転席ドアアンロック時 (SW : ON)	約 0
63	リモコンエントリーチューナーアース	キー抜き	—	約 0
69	CAN H	—	—	—
70	CAN L	—	—	—
76	リモコンエントリーチューナーパルス信号	キー抜き	受信待機状態	 OCC3879D
			リモコン SW いずれかを操作	 OCC3880D
		ON	—	約 0

\* : ナビゲーションシステム無車のみ

## 故障診断の進め方

JIS002N0

1. 故障現象又は、お客さまの要求を確認する。
2. システム概要を把握する。「[システム概要](#)」(BL-23 ページ) 参照。
3. 集中ドアロックシステムが正常に作動するか確認する。「[集中ドアロックシステム](#)」(BL-11 ページ) 参照。
4. 診断前点検を行う。「[診断前点検](#)」(BL-32 ページ) 参照。
5. 現象別故障診断表から、不具合の原因を修理又は交換する。「[現象別故障診断表](#)」(BL-35 ページ) 参照。
6. 終了。

BL

J

K

L

診断前点検

JIS002N1

BCM 電源ヒューズ点検

1. ヒューズ点検

- BCM の下記ヒューズに溶断がないか点検する。

ユニット	端子番号	信号名称	ヒューズ番号
BCM	1	バッテリー電源	F/L-6
	28	ACC 電源	#6
	29	IGN 電源	#12

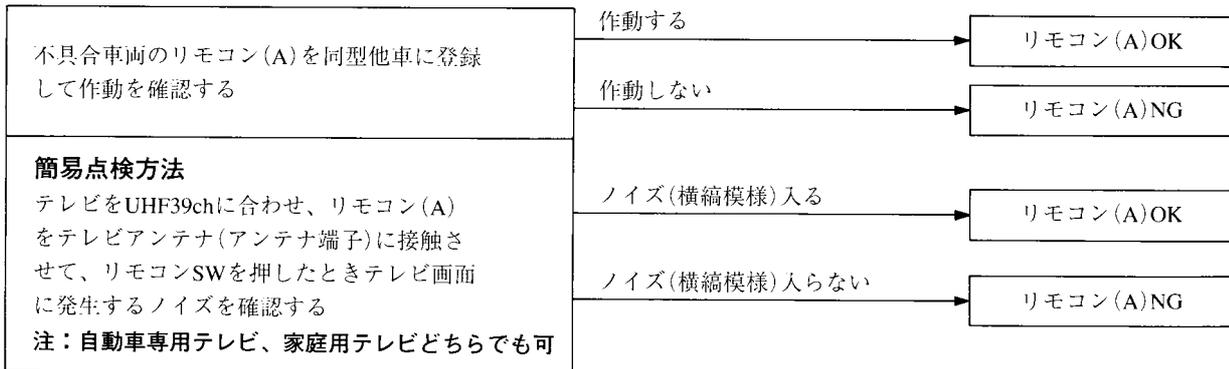
点検結果は OK か？

- OK 正常
- NG ヒューズを交換する。

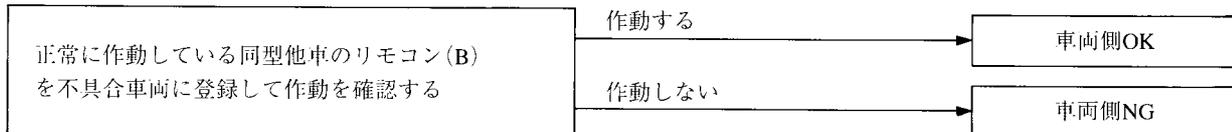
システム点検

- リモートコントロールエントリーシステム故障時、故障診断を行う前に、故障原因がどの部位にあるのかを正確につかむ。
- 故障原因がリモコンにあるのか又は、車両側（リモコンエントリーチューナー又は BCM）にあるのか下記の診断フローより点検部位を確認する。

A



B



SIIA0564J

作動点検		点検項目
システム点検 A	システム点検 B	
リモコン(A) OK	車両側 OK	不具合車両にリモコン(A)を再度登録し、作動を確認する。
リモコン(A) OK	車両側 NG	故障診断で車両の不具合箇所を探究する。 「現象別故障診断表」(BL-35 ページ) 参照。
リモコン(A) NG	車両側 OK	リモコン(A)の点検を行う。 「リモコン系統」(BL-42 ページ) 参照。

## CONSULT- の機能

JIS002N2

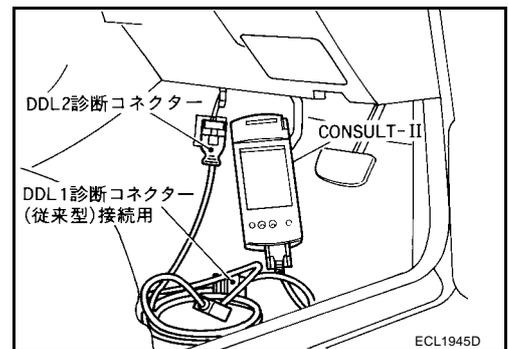
- BCM からの通信線によりデータの受信、指令の送信の組み合わせで自己診断、各部位別の作業サポート、データモニタ及びアクティブテストの点検機能がある。

診断部位	点検項目、診断モード	内容	
キーレスエントリー	作業サポート	各機能の設定変更を行う。	
	データモニタ	BCM の入力データをリアルタイムに表示する。	
	アクティブテスト	ターンシグナル及びルームランプに駆動信号を与え、作動点検ができる。	
BCM C/U*	自己診断結果	自己診断を行う。	
	データモニタ	CAN 診断サポートモニタ	CAN 通信のシステム診断、送信不能状態及び BCM と通信している各ユニットとの通信状態を表示する。
		項目メニュー選択	BCM の入力データをリアルタイムに表示する。

\*：詳細については「BCS ボディーコントロールシステム」の「CONSULT- による CAN 通信点検（自己診断）」（BCS-18 ページ）参照。

## CONSULT- の基本操作要領

1. キースイッチ OFF 状態で CONSULT- を車両側診断コネクタに接続し、キースイッチを ON にする。
2. [ 開始 ] をタッチする。



3. 「診断システム選択」画面で [ BCM ] をタッチする。



4. 「診断部位選択」画面で必要な診断部位を選択する。



## リモートコントロールエントリーシステム

### データモニタ

#### 操作要領

1. 「診断部位選択」画面で [ キーレスエントリー ] を選択する。
2. 「診断モード選択」画面で [ データモニタ ] をタッチする。
3. 「データモニタ」画面で [ 全項目 ] 又は [ 項目メニュー選択 ] をタッチする。

全項目	全項目をモニタする
項目メニュー選択	項目を選択しモニタする

4. “ 項目メニュー選択 ” の場合は、必要とするモニタ項目をタッチする。“ 全項目 ” の場合は全項目がモニタされる。
5. [ 開始 ] をタッチする。
6. モニタ中に [ 記録開始 ] をタッチするとモニタ項目の状態を記録でき、記録中に [ 記録中止 ] をタッチすると記録を中止する。

#### 表示項目

モニタ項目名 [ 操作又は単位 ]	表示内容
ACC SW [ ON/OFF ]	キー SW 信号から判断した「キー SW ACC ( ON ) / キー SW OFF ( OFF )」状態を表示。
キーケンシュツ SW [ ON/OFF ]	キー差し込み検出 SW からの「キー差し込み ( ON ) / キー抜き ( OFF )」状態を表示。
ドア SW DR [ ON/OFF ]	運転席ドア SW 信号から判断した「ドア開 ( ON ) / ドア閉 ( OFF )」状態を表示。
ドア SW ALL [ ON/OFF ]	全席ドア SW 信号から判断した「ドア開 ( ON ) / ドア閉 ( OFF )」状態を表示。
ロックボタン SW [ ON/OFF ]	リモコンドアロックボタン信号から判断した「操作 ( ON ) / 非操作 ( OFF )」状態を表示。
アンロックボタン SW [ ON/OFF ]	リモコンドアアンロックボタン信号から判断した「操作 ( ON ) / 非操作 ( OFF )」状態を表示。
バックドア SW [ ON/OFF ]	バックドア SW 信号から判断した「バックドア開 ( ON ) / バックドア閉 ( OFF )」状態を表示。

### アクティブテスト

#### 操作要領

1. 「診断部位選択」画面で [ キーレスエントリー ] を選択する。
2. 「診断モード選択」画面で [ アクティブテスト ] をタッチする。
3. テストする項目をタッチし、作動を確認する。
4. 作動確認中、[ 停止 ] をタッチすると作動を停止する。

#### 表示項目

項目	内容
ルームランプ	任意の点灯 - 消灯操作により、ルームランプの点灯確認ができる。
フラッシャー ( 右 )	ターンシグナルランプに点灯信号を送信し、ターンシグナルランプの作動 ( 点灯 ) を点検する。
フラッシャー ( 左 )	ターンシグナルランプに点灯信号を送信し、ターンシグナルランプの作動 ( 点灯 ) を点検する。

## リモートコントロールエントリーシステム

項目	内容
フラッシャー（右）(CAN)	コンビネーションメーターにターンシグナル表示信号を送信し、ターンシグナル表示灯（右）の作動を確認する。
フラッシャー（左）(CAN)	コンビネーションメーターにターンシグナル表示信号を送信し、ターンシグナル表示灯（左）の作動を確認する。

### 作業サポート

#### 操作要領

1. 「診断部位選択」画面で [ キーレスエントリー ] を選択する。
2. 「診断モード選択」画面で [ 作業サポート ] をタッチする。
3. 「作業項目選択」画面で、設定変更する項目をタッチする。
4. 選択した機能の設定を変更する。

#### 設定変更表示項目

CONSULT- 設定変更モード	内容	CONSULT- 表示	工場出荷時 設定
キーレスモード設定	作動確認機能の ON（作動）又は OFF（非作動）の設定が変更できる	ON（作動）	
		OFF（非作動）	—
オートロック制御設定	オートロック機能のモード（作動時間又は非作動）の設定が変更できる	モード 1：30 秒	
		モード 2：OFF	—
		モード 3：60 秒	—

### 現象別故障診断表

JIS002N3

下記表の診断を行う前に診断前点検 (BL-32) を行い、故障原因がリモコンにあるのか又は、車両側 (BCM 又はリモコンエントリーチューナー) にあるのかを確認すること。

現象	不具合系統	参照先
リモコン操作でドアロック、アンロック作動がしない (集中ドアロックシステムは正常)	リモコン側の不具合	リモコン系統 (BL-42)
	車両側の不具合	キー差し込み検出スイッチ系統 (BL-36)
		ドアスイッチ系統 (ナビゲーションシステム無車) (BL-38)
		ドアスイッチ系統 (ナビゲーションシステム付車) (BL-40)
		リモコンエントリーチューナー系統 (BL-43)
	上記系統が正常な場合は BCM を交換する	—
リモコン操作で運転席ドアロックが作動しない	運転席ドアロックアクチュエーター系統	(BL-36)
リモコン操作で運転席ドアロックは作動するが、助手席、後席左右ドアロック、アンロック作動及び運転席ドアアンロック作動がしない	集中ドアロックシステム点検を行う	(BL-16)
リモコンによるドアロック、アンロック作動時、ターンシグナルランプが点滅しない (ターンシグナルランプシステムは正常)	CONSULT- でキーレスモード設定の確認を行う	(BL-33)
	BCM 不良	—
リモコンによるドアロック、アンロック作動時、ターンシグナルランプが点滅しない (ターンシグナルランプシステムも作動しない)	ターンシグナルランプ系統を点検する	(LT-69)

運転席ドアロックアクチュエーター系統点検

JIS002N4

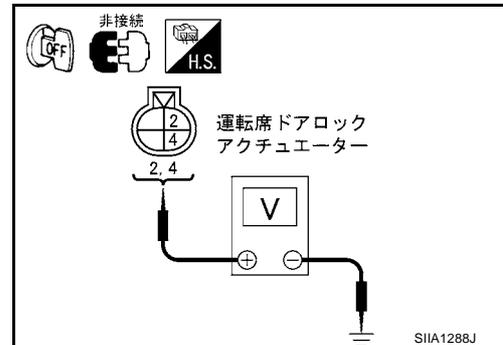
1. ドアロックアクチュエーター信号点検

1. キー SW を OFF 位置にする。
2. 運転席ドアロックアクチュエーターのコネクターを外す。
3. 集中ドアロック SW を操作し、ドアロックアクチュエーター車両側コネクター 2、4 番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

集中ドアロック SW	端子		電圧
	(+)	(-)	
LOCK SW : ON	4	ボディーアース	約 0 → 約 12 → 約 0
UNLOCK SW : ON	2	ボディーアース	約 0 → 約 12 → 約 0

点検結果は OK か？

- OK            運転席ドアロックアクチュエーター不良  
 NG            2 へ



2. ドアロックアクチュエーター回路点検

1. BCM のコネクターを外す。
2. 運転席ドアロックアクチュエーター車両側ハーネスコネクター 2、4 番端子～ BCM 車両側ハーネスコネクター 25、33 番端子間のハーネス導通点検を行う。

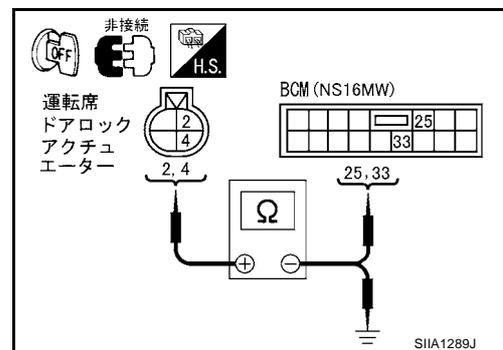
- 2 ~ 33                            : 導通あり  
 4 ~ 25                            : 導通あり

3. 運転席ドアロックアクチュエーター車両側ハーネスコネクター 2、4 番端子～ボディーアース間の導通を点検する。

- 2 ~ ボディーアース            : 導通なし  
 4 ~ ボディーアース            : 導通なし

点検結果は OK か？

- OK            BCM 不良  
 NG            運転席ドアロックアクチュエーター～ BCM 間ハーネス不良



キー差し込み検出スイッチ系統点検

JIS002N5

1. キー差し込み検出スイッチ点検

- ① データモニタの“キーケンシュツ SW”で IGN キーシリンダーにキーを差し込み、ON-OFF 作動を確認する。  
[「データモニタ」\(BL-34 ページ\)](#) 参照。

- IGN キーシリンダーにキーを差し込む            : ON  
 IGN キーシリンダーからキーを抜く            : OFF

点検結果は OK か？

- OK            正常  
 NG            2 へ

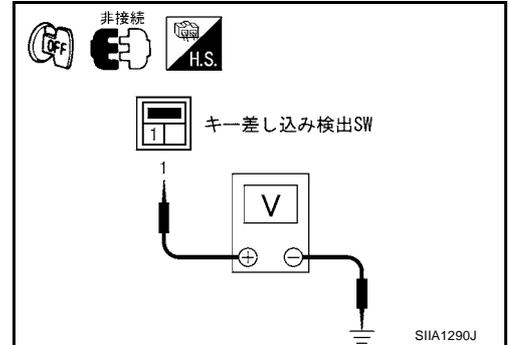
## 2. キー差し込み検出スイッチ電源回路点検

1. キーを IGN キーシリンダーから抜く。
2. キー差し込み検出 SW のコネクタを外す。
3. キー差し込み検出 SW 車両側コネクタ 1 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

1 ~ ボディーアース : 約 12V

点検結果は OK か？

- OK 3 へ  
NG キー差し込み検出 SW 電源回路不良



## 3. キー差し込み検出スイッチ作動点検

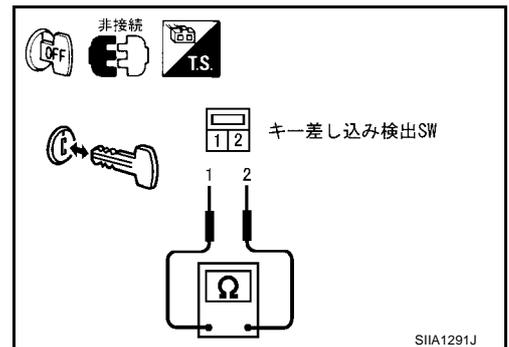
1. IGN キーシリンダーにキーを差し込む。
2. キー差し込み検出 SW コネクタ 1 番端子 ~ 2 番端子間の導通を点検する。

IGN キーシリンダーにキーを差し込む : 導通あり

IGN キーシリンダーからキーを抜く : 導通なし

点検結果は OK か？

- OK 4 へ  
NG キー差し込み検出 SW 不良



## 4. キー差し込み検出スイッチ回路点検

1. BCM のコネクタを外す。
2. BCM 車両側コネクタ 54 番端子 ~ キー差し込み検出 SW 車両側コネクタ 2 番端子間のハーネス導通点検を行う。

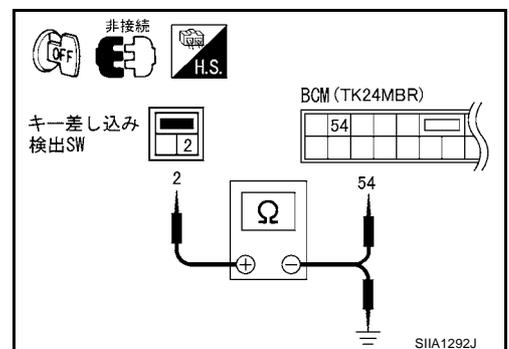
54 ~ 2 : 導通あり

3. キー差し込み検出 SW 車両側コネクタ 2 番端子 ~ ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

54 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

- OK 正常  
NG BCM ~ キー差し込み検出 SW 間ハーネス不良







ドアスイッチ系統（ナビゲーションシステム付車）

JIS002N7

1. BCM 自己診断



1. 診断部位選択画面で「BCM C/U」を選択し、“自己診断結果”を選択する。
2. 自己診断で表示されている内容を確認する。

CONSULT- 表示コード	診断項目
U1000	CAN 通信
	CAN 系統 1
	CAN 系統 2
	CAN 系統 3
	CAN 系統 4
	CAN 系統 6

表示されている内容は？

異常なし 3へ

CAN 通信または CAN 系統 2へ

2. 不具合系統確認



1. データモニタの“CAN 診断サポートモニタ”を選択する。
2. “開始”を選択し、表示内容を確認する。

診断項目	データモニタ表示内容	
	正常時	異常時（例）
CAN 通信	OK	OK
CAN 系統 1	OK	UNKWN
CAN 系統 2	OK	UNKWN
CAN 系統 3	OK	UNKWN
CAN 系統 4	OK	UNKWN
CAN 系統 6	OK	UNKWN

モニタ項目をプリントアウト後、[「CAN 通信接続ユニット」\(LAN-4 ページ\)](#)へ。

### 3. ドアスイッチ点検

CONSULT- のデータモニタで“ドア SW ALL”及び“ドア SW DR”で各席ドアを開閉操作し、ON（ドア開）-OFF（ドア閉）作動を確認する。

ドア SW ALL	
いずれかのドアを開ける	: ON
全ドア閉じる	: OFF
ドア SW DR	
運転席ドアを開ける	: ON
運転席ドアを閉じる	: OFF

点検結果はOKか？

OK 正常  
NG 4へ

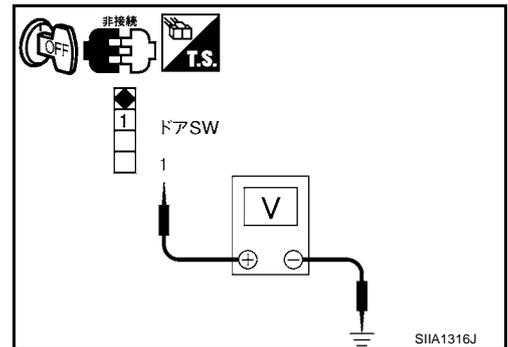
### 4. ドアスイッチ信号点検

- 各席ドア SW のコネクタを外す。
- 各席ドア SW 車両側ハーネスコネクタ 1 番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

1 ~ ボディーアース : 約 12V

点検結果はOKか？

全席 OK 5へ  
いずれかの席がNG 6へ  
全席 NG コンビネーションメーター（メーター C/U）不良



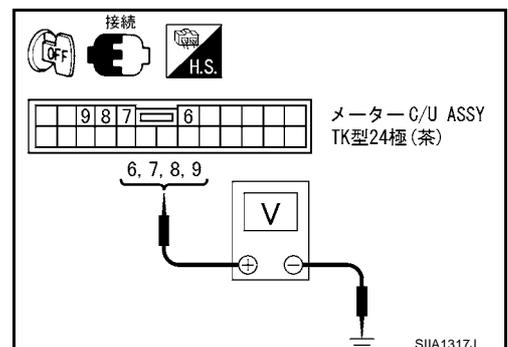
### 5. ドアスイッチ作動点検

- 各席ドア SW コネクタを接続する。
- 全席ドアを閉じる。
- 運転席、助手席及び後席左右それぞれのドアを開閉操作し、コンビネーションメーター（メーター C/U）車両側コネクタ 6（運転席）、7（助手席）、8（後席左）、9（後席右）番端子 ~ ボディーアース間の電圧を点検する。

ドアを開ける	
6、7、8、9 ~ ボディーアース	: 約 0V
ドアを閉じる	
6、7、8、9 ~ ボディーアース	: 約 12V

点検結果はOKか？

OK ドア SW 系統正常  
NG 異常があったドア SW 不良

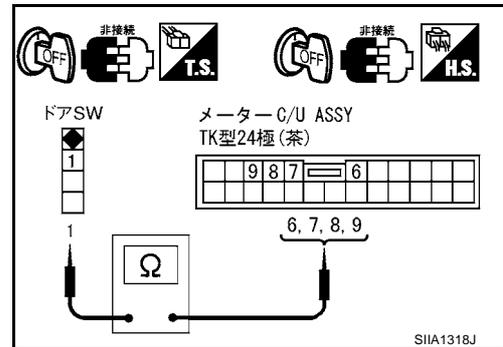


# リモートコントロールエントリーシステム

## 6. ドアスイッチ回路点検

1. コンピネーションメーター及び各席ドア SW のコネクタを外す。
2. 異常があったドア SW ~ コンピネーションメーター間の車両側ハーネス導通点検を行う。

運転席 : 6 ~ 1	導通あり
助手席 : 7 ~ 1	
後席左 : 8 ~ 1	
後席右 : 9 ~ 1	



点検結果は OK か？

- OK      コンピネーションメーター（メーター C/U ASSY）不良  
NG      異常があったドア SW ~ コンピネーションメーター間ハーネスの断線、ショートが無い点検する。

## リモコン系統

JIS002N8

### 1. リモコン信号点検

📱 データモニタの“ロックボタン SW”及び“アンロックボタン SW”でリモコン SW 操作による ON-OFF 作動を確認する。[「データモニタ」\(BL-34 ページ\)](#) 参照。

- リモコンドアロックボタン操作      : OFF→ON  
リモコンドアアンロックボタン操作      : OFF→ON

点検結果は OK か？

- OK      正常  
NG      2 へ

### 2. リモコン登録

キー操作によるリモコン登録を実施し、作動を確認する。[「リモコン登録」\(BL-23 ページ\)](#) 参照。

点検結果は OK か？

- OK      リモコン未登録  
NG      3 へ

### 3. リモコン電池点検

リモコンの電池を点検する。[「構成部品点検」\(BL-44 ページ\)](#) 参照。

点検結果は OK か？

- OK      リモコン電池交換  
NG      リモコン（内部回路）不良

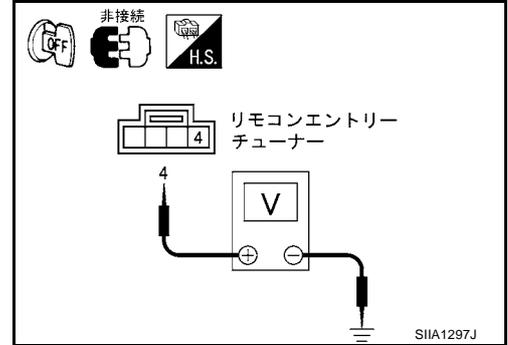
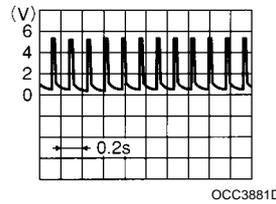
リモコンエントリーチューナー点検

JIS002N9

1. リモコンエントリーチューナー電源回路点検

1. リモコンエントリーチューナーのコネクターを外す。
2. チューナー車両側コネクター 4 番端子 ~ ボディーアース間の電圧波形をオシロスコープで点検する。

4 ~ ボディーアース



点検結果は OK か？

- OK 2 へ  
NG 4 へ

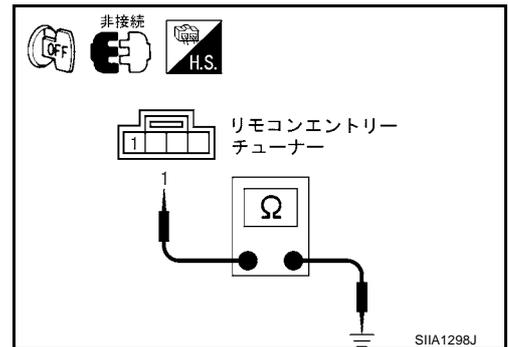
2. リモコンエントリーチューナーアース回路点検

リモコンエントリーチューナー車両側コネクター 1 番端子 ~ ボディーアース間の導通を点検する。

1 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

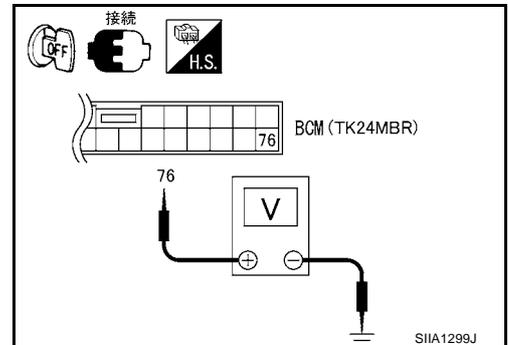
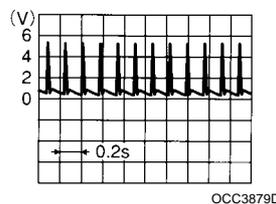
- OK 3 へ  
NG 4 へ



3. リモコンエントリーチューナー出力信号点検

1. リモコンエントリーチューナーのコネクターを接続する。
2. BCM 車両側コネクター 76 番端子 ~ ボディーアース間の電圧波形をオシロスコープで点検する。

76 ~ ボディーアース



点検結果は OK か？

- OK 正常  
NG 4 へ

## 4. ハーネス導通点検

1. リモコンエントリーチューナー及びBCMのコネクターを外す。
2. チューナー車両側コネクター 1、2、4 番端子 ~ BCM 車両側コネクター 22、63、76 番端子間のハーネス導通点検を行う。

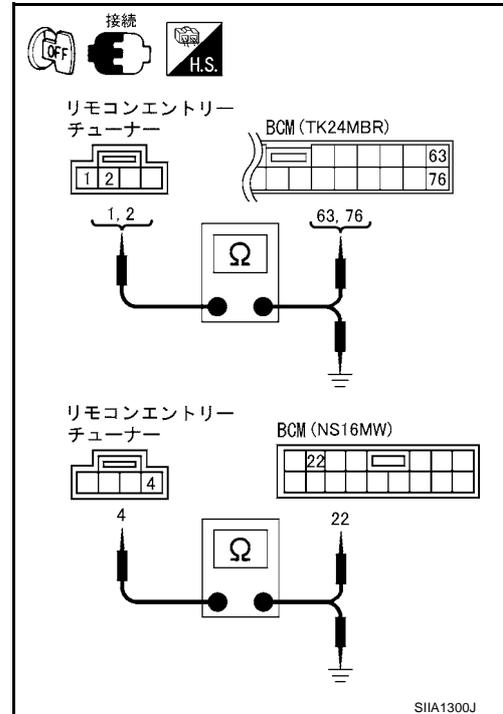
1 ~ 63 : 導通あり  
 2 ~ 76 : 導通あり  
 4 ~ 22 : 導通あり

3. チューナー車両側コネクター 1、2、4 番端子 ~ ボディーアース間のハーネス導通点検を行う。

1 ~ ボディーアース : 導通なし  
 2 ~ ボディーアース : 導通なし  
 4 ~ ボディーアース : 導通なし

### 点検結果は OK か？

OK 正常  
 NG リモコンエントリーチューナー ~ BCM 間ハーネス不良



## 構成部品点検

JIS002NA

### キー一体型リモコン

1. リモコンキー裏の取り付けスクリューを外し、テープを巻いたマイナスインドライバー等を A 部に差し込みケースロアを開ける。
2. ケースロアを上側にし、テープを巻いたマイナスインドライバー等をケースロア A 部に差し込み、ケースアッパー、ロアを分離する。

3. 基板又は、スイッチラバーを交換する場合。
  - ケースアッパー組み込まれている基板 ASSY を取り外す。  
(基板 ASSY : 回路基板 + スイッチラバー)
  - スイッチラバーを軽く押し、回路基板を取り外す。  
**注意:** 基板面に直接触れないようにすること。

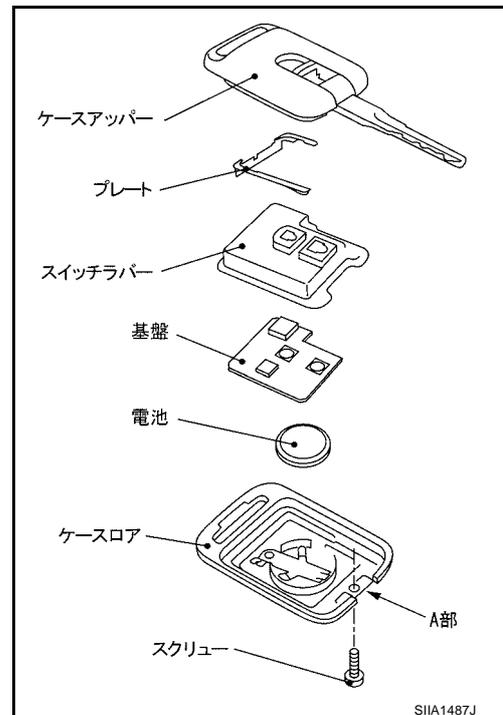
4. 電池を交換する場合。
  - ケースロアから電池を取り外し交換する。

交換用電池 : コイン型リチウム電池 (CR1620)

**注意:** 電池を交換するときは、電極接点にゴミや油脂等の異物を付着させないように注意すること。

5. 交換後、スイッチラバーなどの挟み込みに注意しながらケースアッパー及びロアをかん合させ、スクリューで締め付ける。

**注意:** 電池交換後、リモコン操作で正常にドアロックが作動するか必ず確認すること。

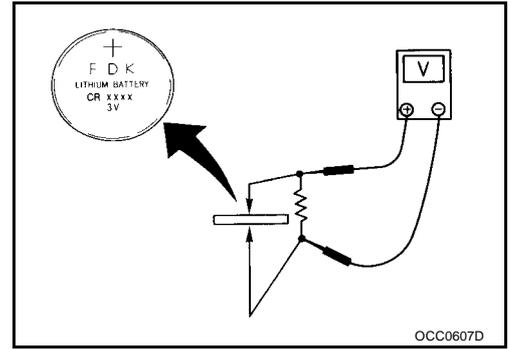


# リモートコントロールエントリーシステム

## リモコン電池点検

電流値が 10mA 相当となる抵抗 (約 300Ω 程度) をつなげて点検する。

点検値 : 約 2.5V ~ 3.0V



A

B

C

D

E

F

G

H

BL

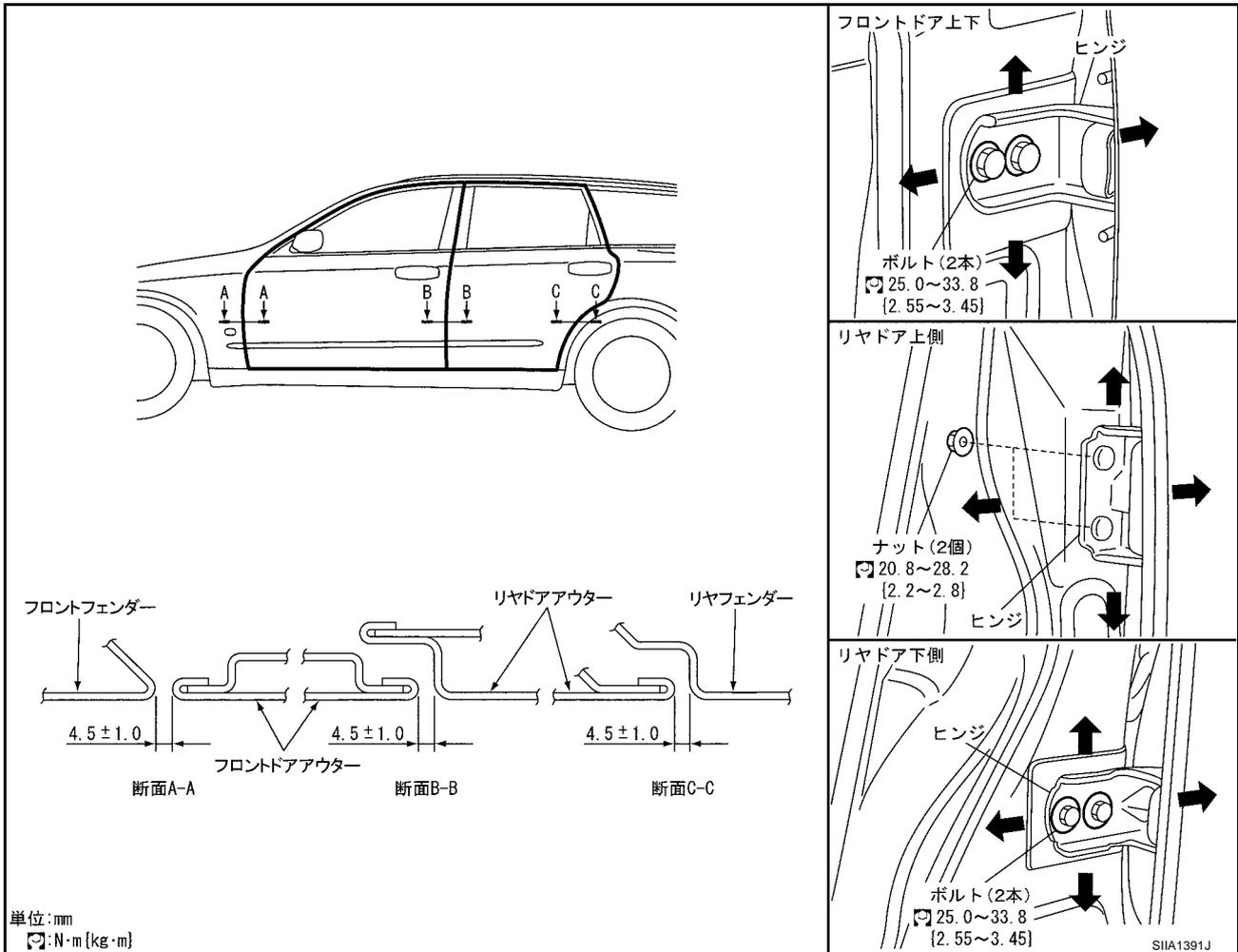
J

K

L

ドア  
建付調整

JIS002NB



フロントドア

前後方向すき間及び前端部段違い調整

1. フェンダープロテクターを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-15 ページ) 参照。
2. フェンダー内側より車体側ヒンジ取付ボルトを緩めた後、フロントドア後端を持ち上げながら調整する。

リヤドア

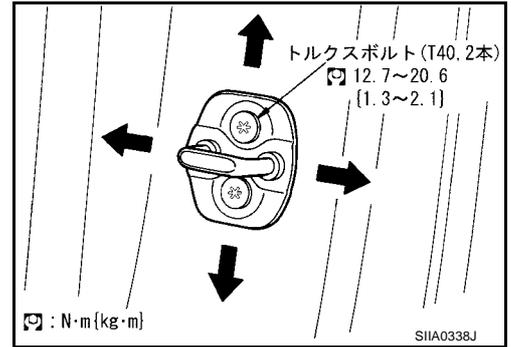
前後方向すき間及び前端部段違い調整

1. センターピラーアッパーガーニッシュ及びセンターピラーロアガーニッシュを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-30 ページ) 参照。
2. 車両内側及び外側より取付ボルト及びナットを緩めた後、リヤドアを開き、リヤドア後端部を持ち上げながら調整する。

## ドア

### ストライカーの調整

ストライカーはロック進入方向に対して平行となるように調整する。



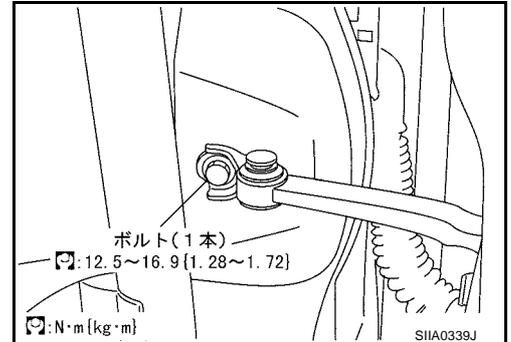
### 取り外し、取り付け

JIS002NC

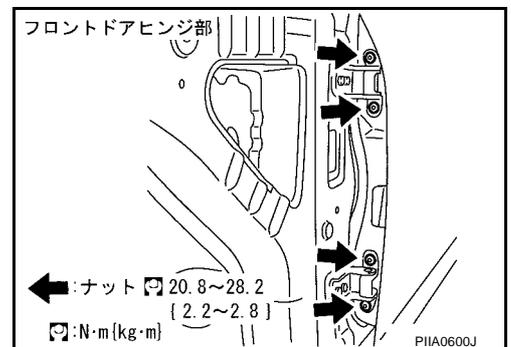
- 注意:**
- ドア ASSY 脱着時、ドア及び車体に傷をつけないようウエスを載せたジャッキなどでドアを支えながら作業すること。
  - ドア ASSY 脱着時は建付調整を行うこと。
  - ヒンジ回転部の給油状態を点検し、不足している場合は「ボディグリース」を塗布する。

### フロントドア

1. ドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-28 ページ) 参照。
2. ドアガラスを取り外す。「GW ガラス・ウインド・ミラー」の「[取り外し、取り付け](#)」(GW-40 ページ) 参照。
3. ドアハーネスを取り外す。
4. モジュール ASSY を取り外す。「GW ガラス・ウインド・ミラー」の「[取り外し、取り付け](#)」(GW-40 ページ) 参照。
5. チェックリンクの車体側取付ボルトを取り外す。



6. ドア側ヒンジ取付ナットを外し、ドア ASSY を取り外す。  
取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

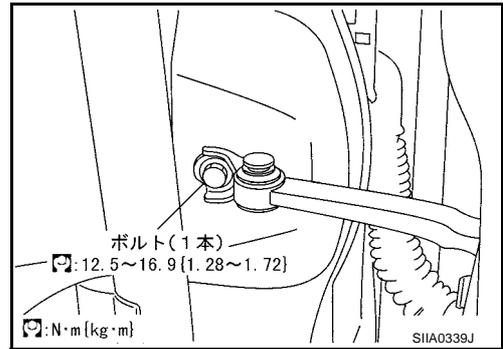


### リヤドア

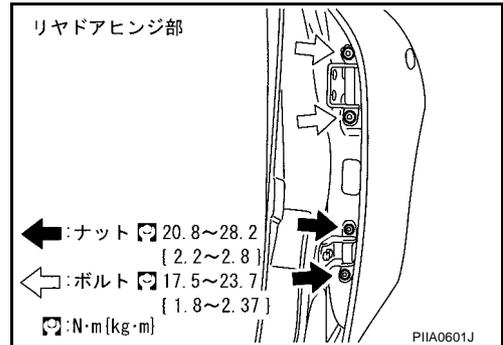
1. ドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-28 ページ) 参照。
2. ドアガラスを取り外す。「GW ガラス・ウインド・ミラー」の「[取り外し、取り付け](#)」(GW-43 ページ) 参照。
3. ドアハーネスを取り外す。

# ドア

4. チェックリンクの車体側取付ボルトを取り外す。

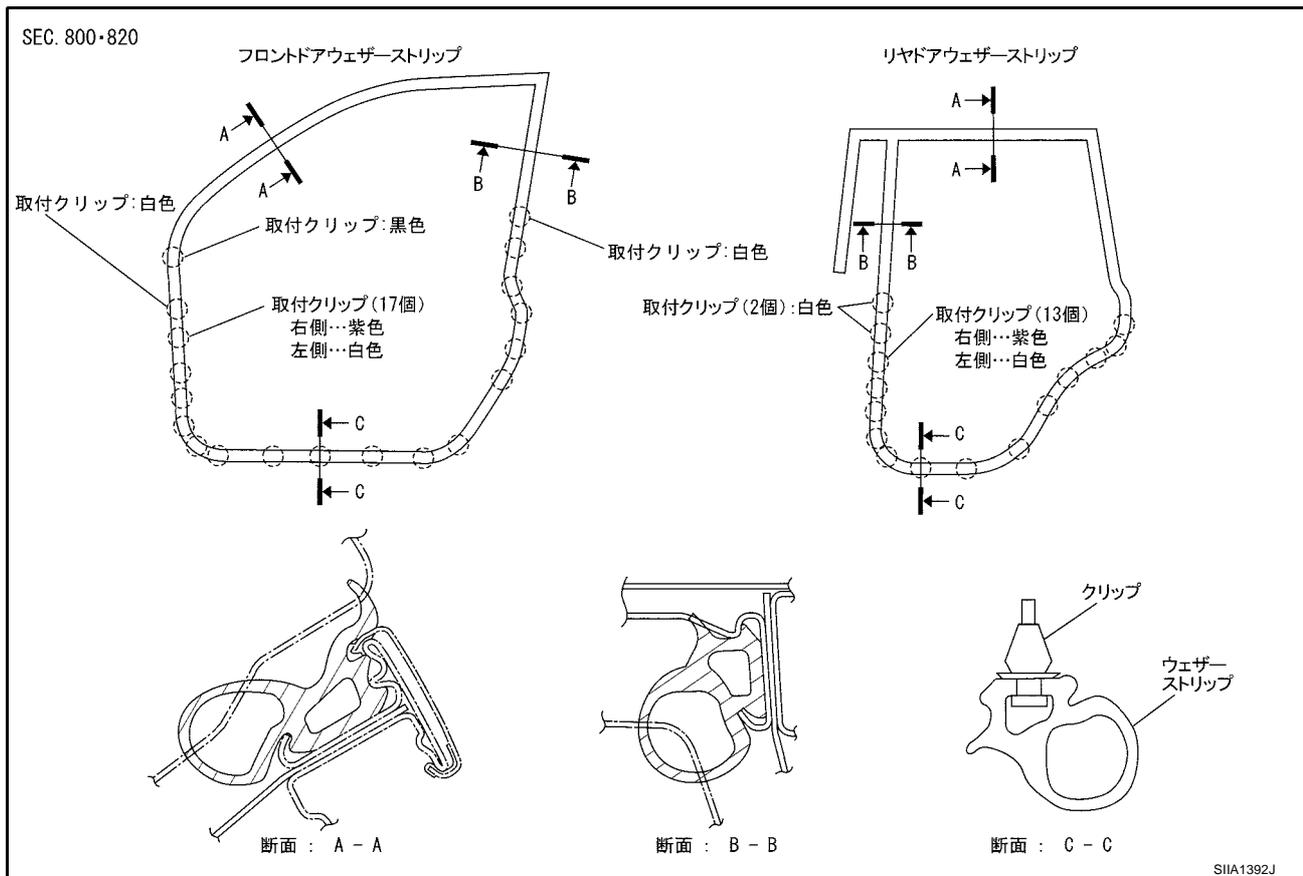


5. ドア側ヒンジ取付ナットを外し、ドア ASSY を取り外す。  
 取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。



## ドアウエザーストリップ

JIS002ND

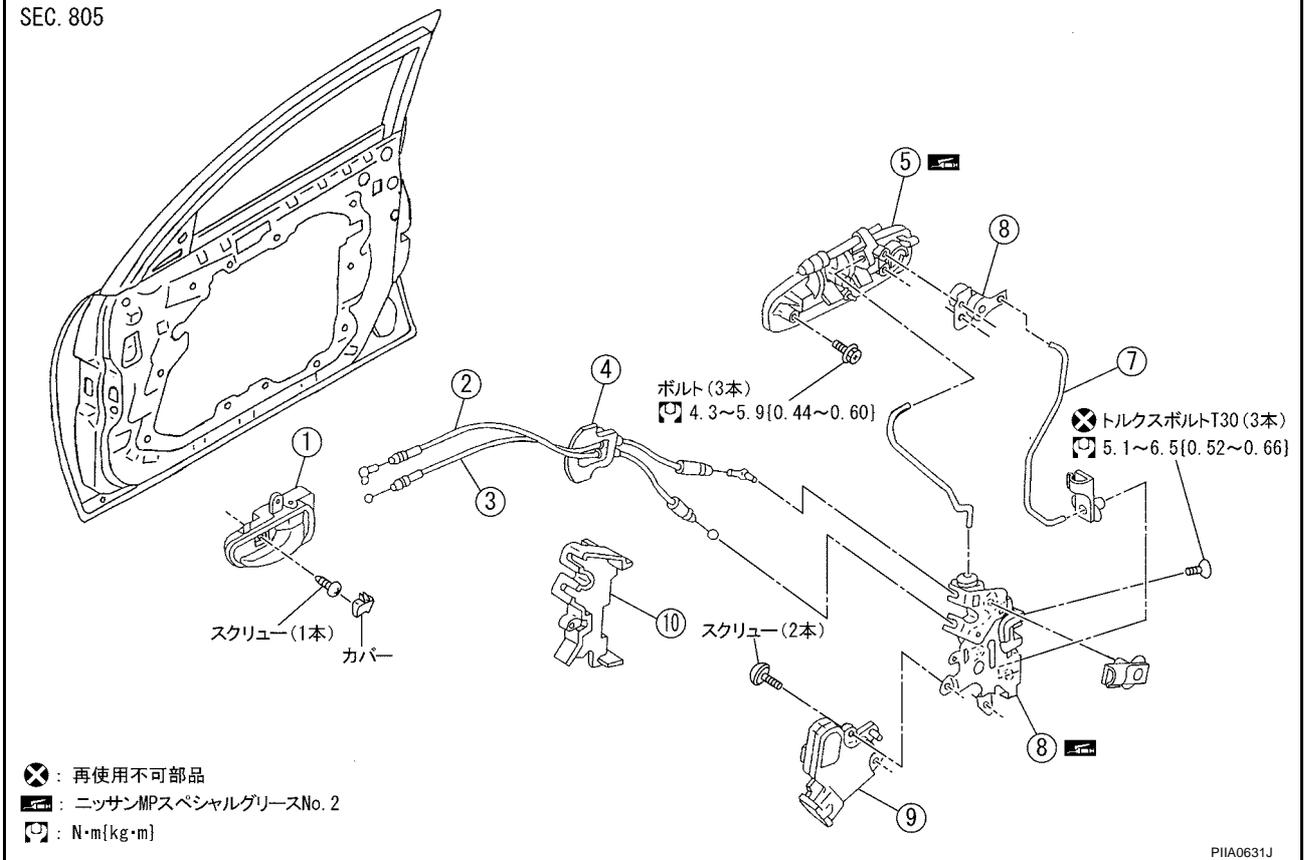


# フロントドアロック

## フロントドアロック 構成図

PF-P:80502

JIS002NE



## 取り外し、取り付け

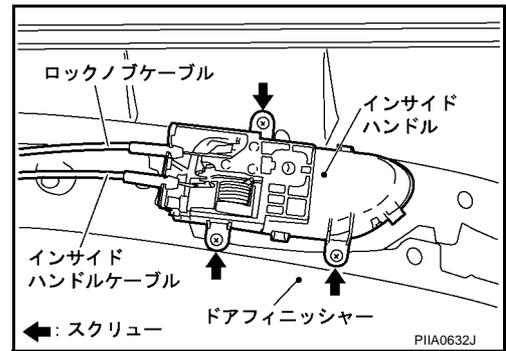
JIS002NF

### 取り外し

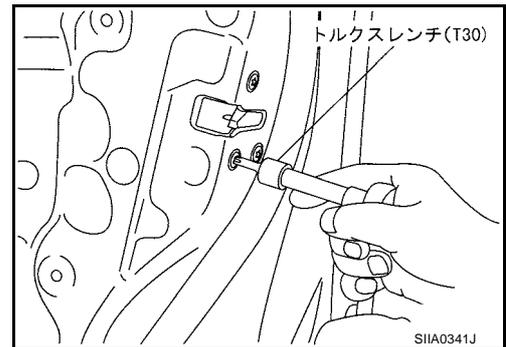
1. フロントドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-28 ページ) 参照。
2. フロントスピーカーを取り外す。「AV オーディオ・ビジュアル・電話」の「[ドアスピーカーの取り外し、取り付け \(BOSE サウンドシステム車以外\)](#)」(AV-20 ページ) 又は「[ドアスピーカーの取り外し、取り付け \(BOSE サウンドシステム車\)](#)」(AV-20 ページ) 参照。
3. フロントドアガラスを取り外す。「GW ガラス・ウインドー・ミラー」の「[取り外し、取り付け](#)」(GW-40 ページ) 参照。
4. フロントドアモジュール ASSY を取り外す。「GW ガラス・ウインドー・ミラー」の「[取り外し、取り付け](#)」(GW-40 ページ) 参照。

## フロントドアロック

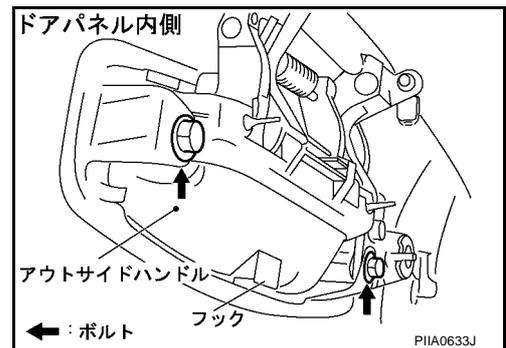
5. フロントドアフィニッシャー裏側のインサイドハンドル部からインサイドハンドルケーブル及びロックノブケーブルを切り離す。



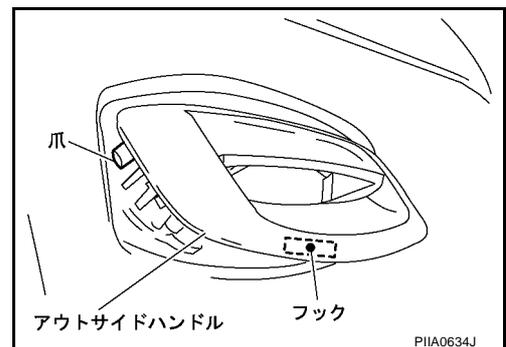
6. キーロックロッド及びアウトサイドハンドルロッド連結部（ハンドル側）を分離する。  
7. 取付スクリュー（トルクス T30）を外し、ドアロック ASSY を作業穴より取り外す。  
8. ドアロックアクチュエーターのコネクターを外す。



9. アウトサイドハンドル取付ボルトを外す。



10. アウトサイドハンドル ASSY は、ハンドルを引いた状態で先に下側を外し、フロントドアより取り外す。



取り付けは取り外しの逆の順序で行う。

**注意:** • ドアロック ASSY 取付時、車体側取付座面に「防せいワックス M-97 スーパー」を塗布する。

- 各ロッドはカチッと手ごたえがあるまでロッドホルダーを回転させて取り付ける。

# フロントドアロック

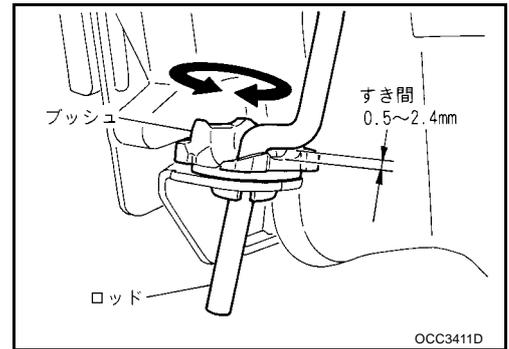
## 点検、調整

JIS002NG

### アウトサイドハンドルロッド調整

- ブッシュとロッドのすき間が図の状態になるようにブッシュを回転させ調整する。

**注意:** すき間が 0mm またはロッドが常に押されている状態にならないようにする。



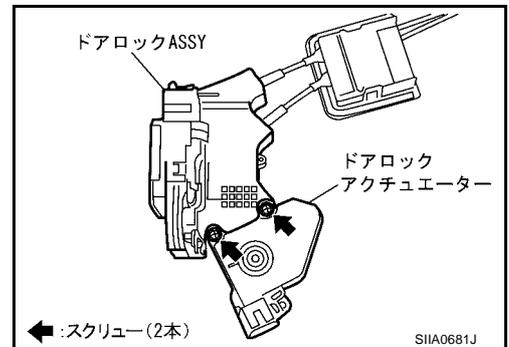
## 分解、組み立て

JIS002NH

### 分解

**注意:** アクチュエーターの脱着はドアロック ASSY を車両から取り外して作業のこと。

1. 取付スクリーを外して、ドアロック ASSY よりアクチュエーターを取り外す。
2. アクチュエーターを真っ直ぐ下方向へ引き、ドアロック ASSY より分割する。



### 組み立て

1. アクチュエーターのピボットをドアロック ASSY のノブレバーの切り欠きに合わせ組み付ける。
2. ノブレバー及びアクチュエーターのピボットをロックオン方向に操作し、確実にかん合していることを確認する。

A

B

C

D

E

F

G

H

BL

J

K

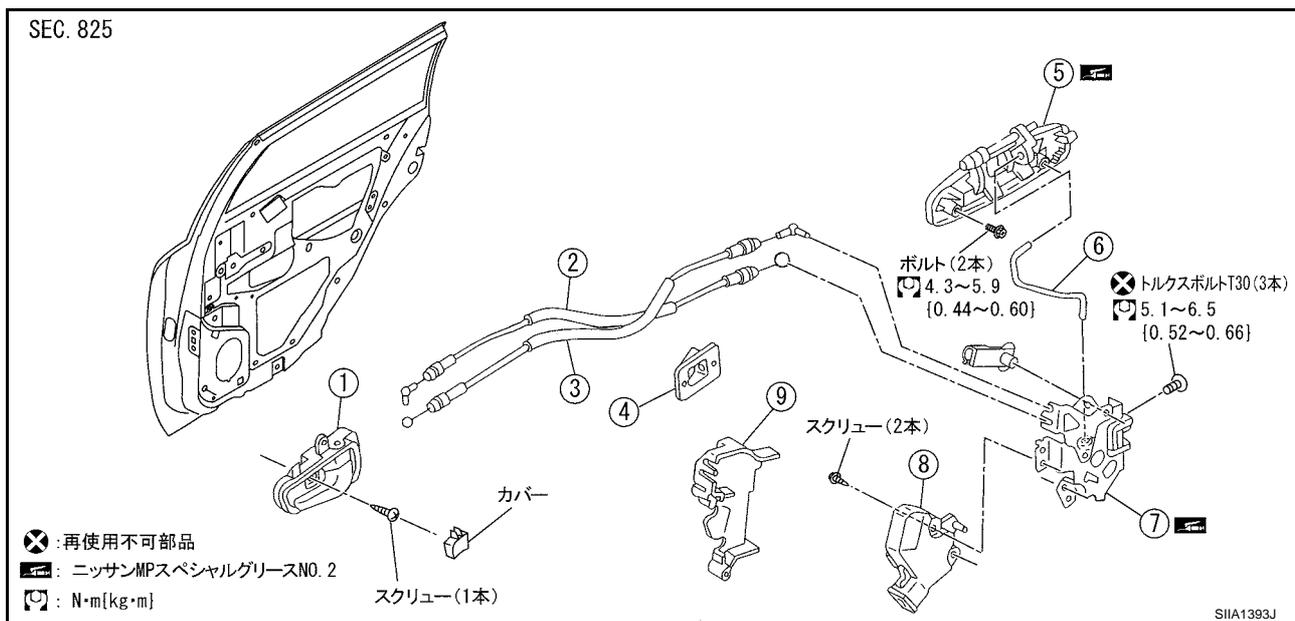
L

リヤドアロック

PF:82502

構成図

JIS002NJ



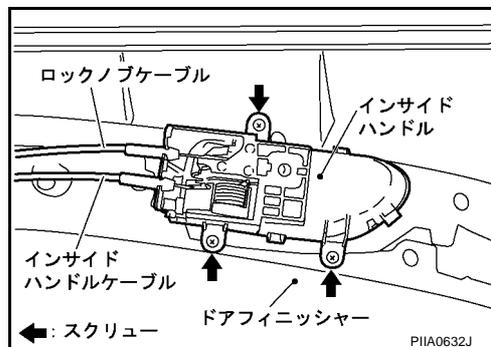
- |                 |                    |                    |
|-----------------|--------------------|--------------------|
| 1. : インサイドハンドル  | 2. : ロックノブケーブル     | 3. : インサイドハンドルケーブル |
| 4. : ロックノブグロメット | 5. : アウトサイドハンドル    | 6. : アウトサイドハンドルロッド |
| 7. : ドアロック ASSY | 8. : ドアロックアクチュエーター | 9. : リヤドアロックカバー    |

ドアロック取り外し、取り付け

JIS002NJ

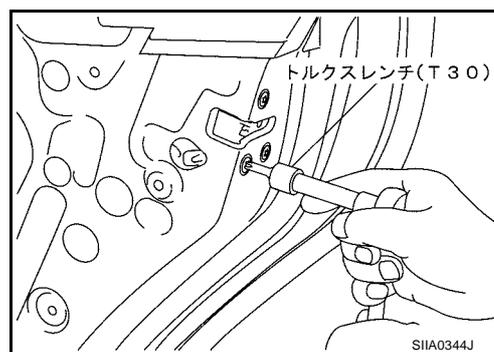
取り外し

- リヤドアフィニッシャーを取り外す。「EI 外装、内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-28 ページ) 参照。
- リヤドアスピーカーを取り外す。「AV オーディオ・テレビ・ナビゲーション・電話」の「[ドアスピーカーの取り外し、取り付け \(BOSE サウンドシステム車\)](#)」(AV-20 ページ) 又は「[ドアスピーカーの取り外し、取り付け \(BOSE サウンドシステム車\)](#)」(AV-20 ページ) 参照。
- シーリングスクリーンを取り外す。  
参考: シーリングスクリーンを取り外す場合、シーリングスクリーン側にブチルテープが残るようにブチルテープをカッターで切断する。
- リヤドアガラスを取り外す。「GW ガラス・ウインド・ミラー」の「[取り外し、取り付け](#)」(GW-43 ページ) 参照。
- インサイドハンドル裏側からインサイドハンドルケーブル及びロックノブケーブルを切り離す。

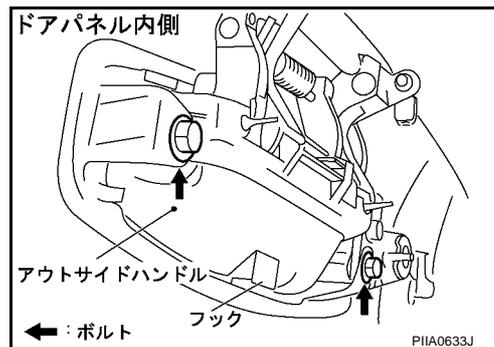


## リヤドアロック

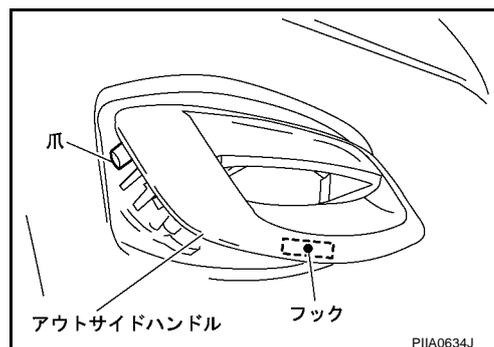
6. 取付スクリュー（トルクス T30）を外し、ドアロック ASSY を作業穴より取り外す。
7. ドアロックアクチュエーターのコネクターを外す。



8. アウトサイドハンドル取付ボルトを外す。



9. アウトサイドハンドル ASSY は、ハンドルを引いた状態で先に下側を外し、リヤドアより取り外す。



取り付けは取り外しの逆の手順で行う。

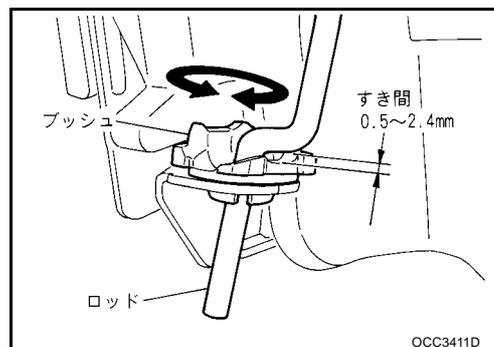
- 注意：**
- ドアロック ASSY 取付時、車体側取付座面に「防せいワックス M-97 スーパー」を塗布する。
  - 各ロッドはカチッと手ごたえがあるまでロッドホルダーを回転させて取り付ける。

## 点検、調整

### アウトサイドハンドルロッド調整

ブッシュとロッドのすき間が図の状態になるようにブッシュを回転させ調整する。

- 注意：** すき間が 0mm またはロッドが常に押されている状態にならないようにする。



## リヤドアロック

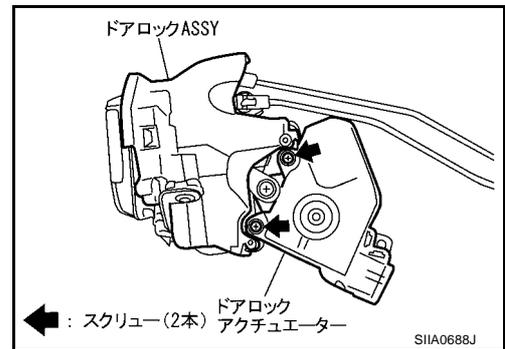
JIS002NL

### 分解、組み立て

#### 分解

**注意：** アクチュエーターの脱着はドアロック ASSY を車両から取り外して作業のこと。

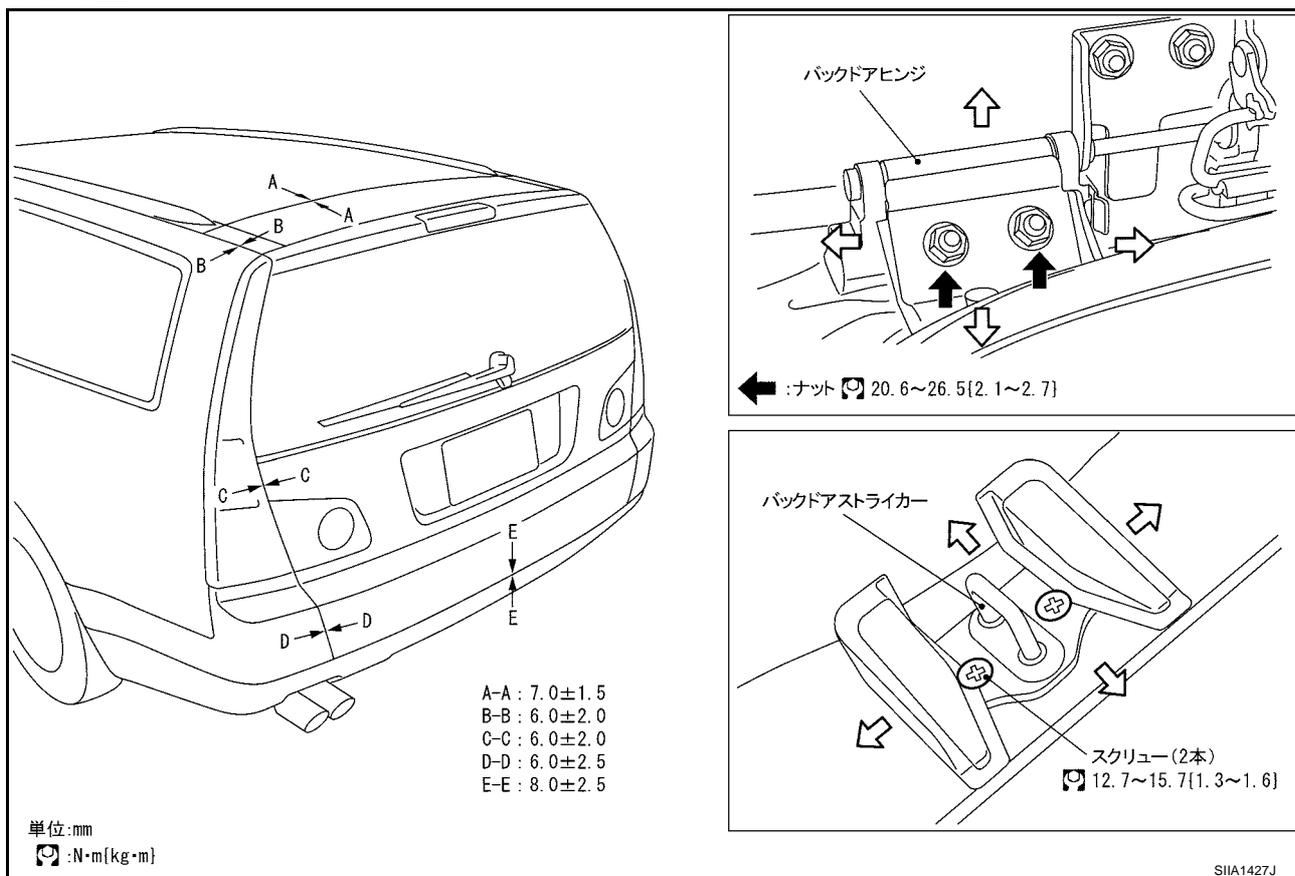
1. 取付スクリーンを外して、ドアロック ASSY よりアクチュエーターを取り外す。
2. アクチュエーターを真っ直ぐ下方向へ引き、ドアロック ASSY より分割する。



#### 組み立て

1. アクチュエーターのピボットをドアロック ASSY のノブレバーの切り欠きに合わせ組み付ける。
2. ノブレバー及びアクチュエーターのピボットをロックオン方向に操作し、確実にかん合していることを確認する。

バックドア  
建付調整



上下、左右方向すき間（面差）調整

1. ストライカーを外した状態でバックドアヒンジのドア側取付ナットを緩め、バックドアを閉じる。
2. 左右のすき間及びリヤバンパーとのすき間を一定にした後、バックドアを開け、取付ナットを規定トルクで締め付ける。

**注意:** バックドアと各部位のすき間は左右で以下の寸法差になるように調整すること。

- ガラスハッチアッパーとボディサイドアウター (B) : 2.0mm 以下
- リヤコンビネーションランプとバックドアアウター (C) : 2.0mm 以下
- リヤバンパーフェーシアとバックドアアウターフィニッシュシャーロア (D) : 2.0mm 以下

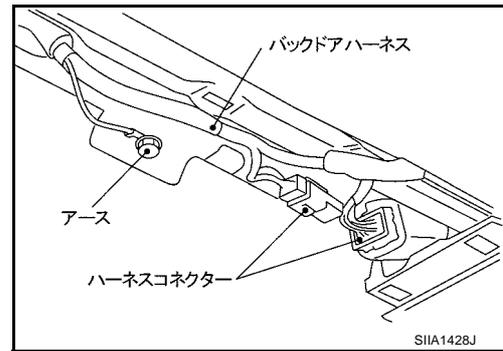
バックドア ASSY

取り外し

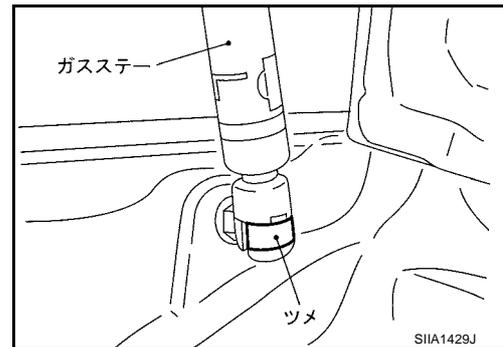
1. リヤルーフガーニッシュを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-37 ページ) 参照。

## バックドア

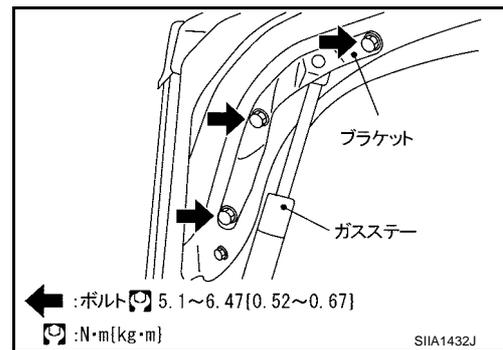
2. コネクターを外し、バックドアハーネスを車両から引き抜く。



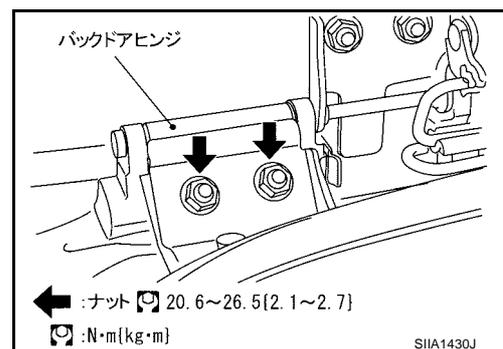
3. バックドアロック部に支持材等を当て、落下防止を行った後、バックドアステー(ガスステー)車体側のツメをマイナスドライバー等で外し、バックドアステーを引き抜く。



4. 取付ボルト(3本)を外し、バックドアステー(ガスステー)ブラケットを外す。



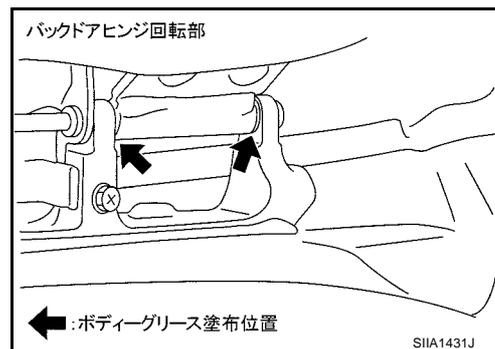
5. バックドア側ヒンジ取付ボルトを外しバックドア ASSY を取り外す。



# バックドア

## 点検

1. ヒンジの以下の項目を点検する。
  - ・異音又は開閉の重さ
  - ・構成部品の摩耗、損傷
2. ヒンジ回転部は「ボディーグリース」を塗布する。

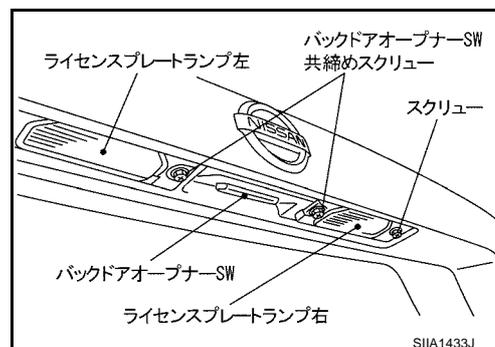


## バックドアオープナースイッチ

JIS002NO

### 取り外し

1. バックドアインナーフィニッシャー（アッパー）を取り外す。「EI 外装・内装」の「[バックドアインナーフィニッシャー（アッパー）](#)」(EI-25 ページ) 参照。
2. バックドアオープナースイッチハーネスの固定クリップ（ワイパーモーター横）及びコネクタを外す。
3. ライセンスプレートランプを取り外す。
4. ライセンスプレートランプ取付穴（右側）からバックドアオープナースイッチを取り外す。



### 取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

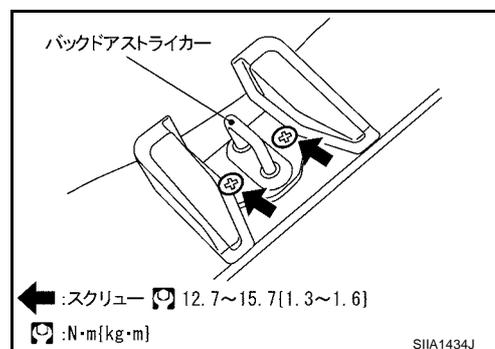
**注意：** 取付後、作動確認を行う。

## バックドアストライカー

JIS002NO

### 取り外し

1. ラゲッジリヤプレートを取り外す。「EI 外装・内装」の「[取り外し、取り付け](#)」(EI-35 ページ) 参照。
2. 取付スクリューを外し、バックドアストライカーを取り外す。



### 取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

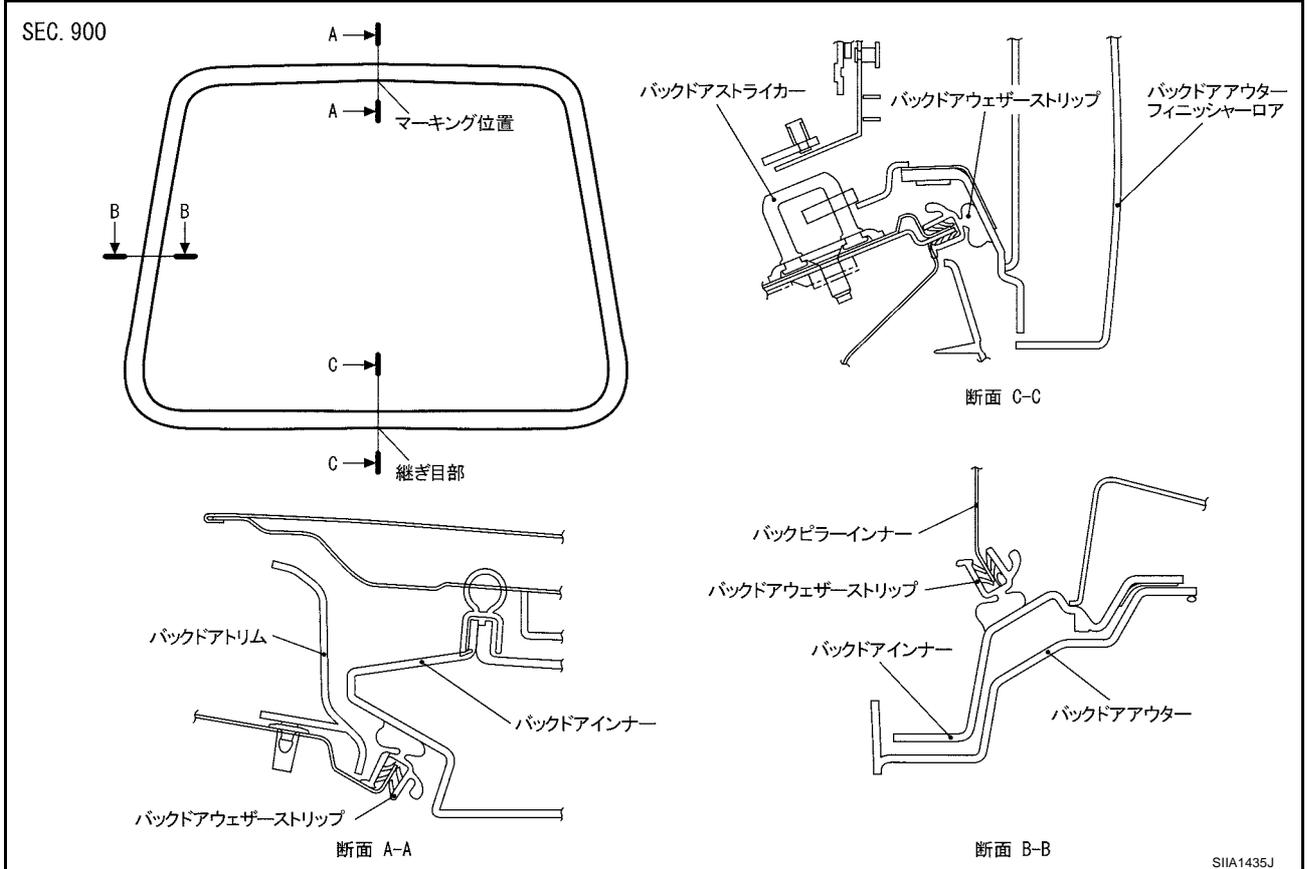
**注意：** 取付後、作動確認を行う。



# バックドア

## バックドアウエザーストリップの取り外し、取り付け

JIS002NR



### 取り外し

ウエザーストリップの継ぎ目部より、車体とのかん合部を上側に引いて取り外す。

**注意:** 取り外す際は、ウエザーストリップを強い力で引っ張らないこと。

### 取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

- 上側より車両中心ポジマークにウエザーストリップマーキングを合わせ取り付ける。
- 下側はストライカー中心にウエザーストリップ継ぎ目部を合わせる。
- ウエザーストリップを軽く引っ張って浮きのないことを確認する。
- 各コーナー部及びラゲッジリヤプレート部は確実に密着させること。

# バックドアオートクローザーシステム

## バックドアオートクローザーシステム

PFP:90542

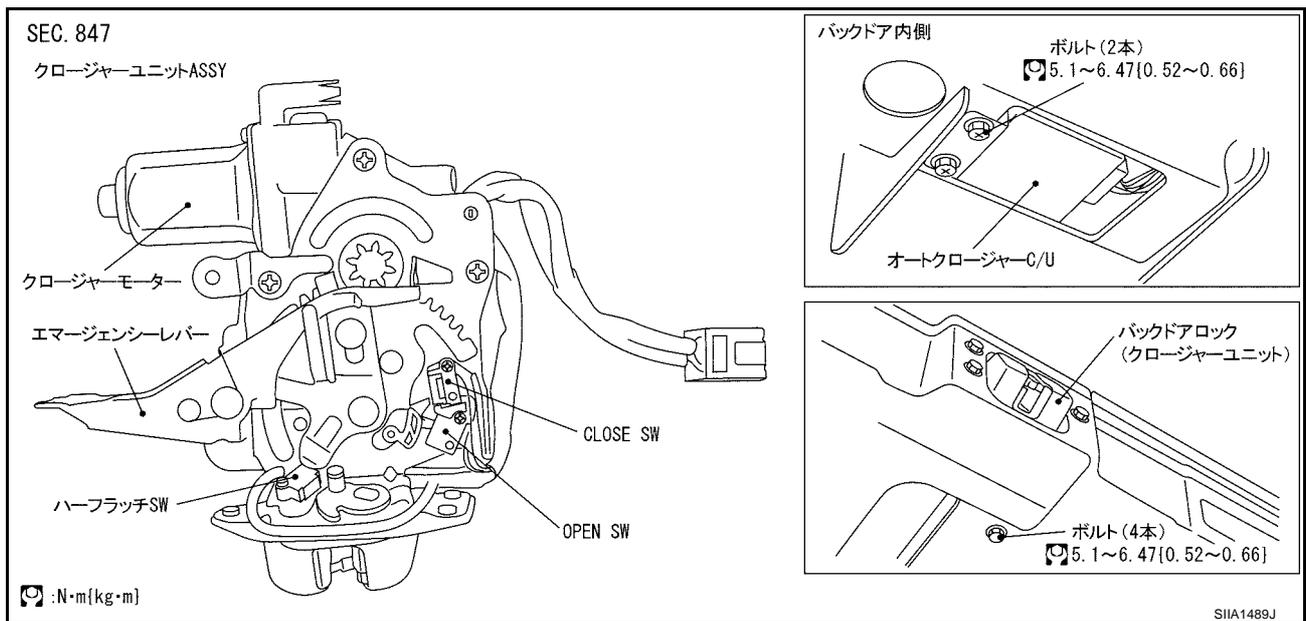
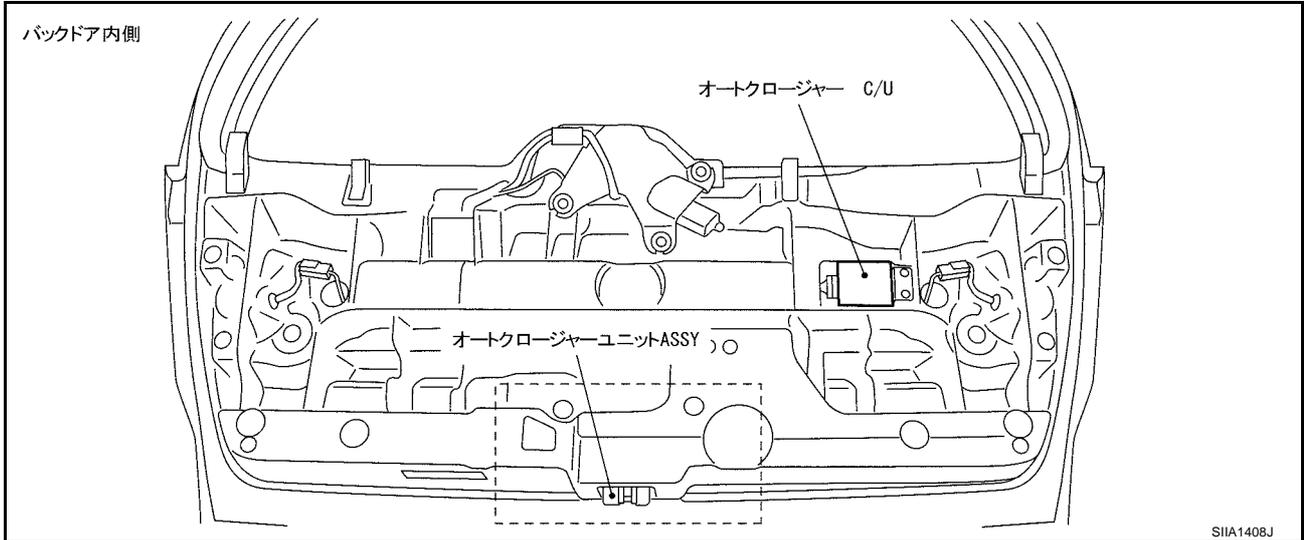
### システム概要

JIS002QX

- バックドアを半ドア状態（ロックとストライカーがかみ合った状態）にすると、モーターが作動し、自動的にバックドアを引き込み全閉状態にする。

### 構成部品取付位置

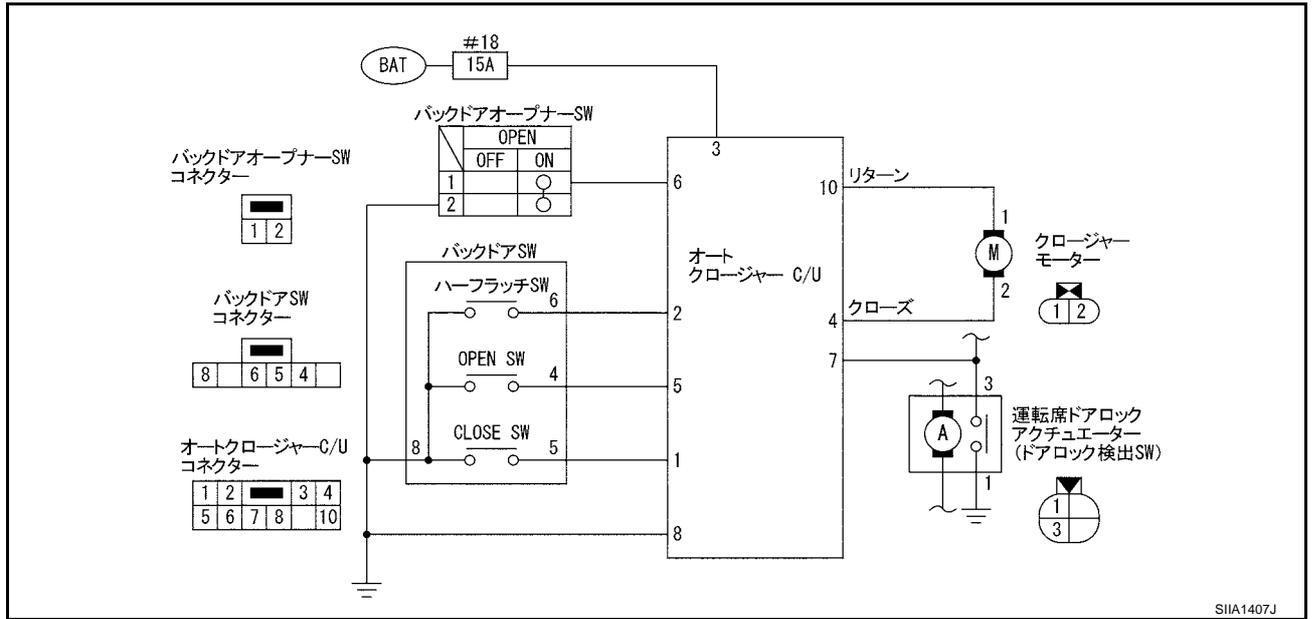
JIS002QY



# バックドアオートクロージャシステム

## 回路図

JIS002QZ



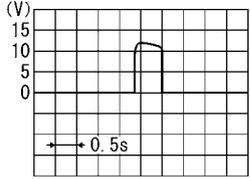
SIIA1407J

## オートクロージャコントロールユニット入出力信号基準値

JIS002R0

端子番号	信号名称	測定条件	基準値 (V)
1	CLOSE SW 信号	バックドア開 → 半ドア → 全閉	<p>(V) 15, 10, 5, 0</p> <p>0.5s</p> <p>SIIA1478J</p>
2	ハーフラッチ SW 信号	バックドア開 → 半ドア → 全閉	<p>(V) 15, 10, 5, 0</p> <p>0.5s</p> <p>SIIA1479J</p>
3	BAT 電源	—	約 12
4	クロージャーマータークローズ出力信号	バックドア全開 → 半ドア → 全閉	<p>(V) 15, 10, 5, 0</p> <p>0.5s</p> <p>SIIA1480J</p>
5	OPEN SW 信号	バックドア開 → 半ドア → 全閉	<p>(V) 15, 10, 5, 0</p> <p>0.5s</p> <p>SIIA1481J</p>
6	バックドアオープナー SW 信号	バックドアオープナー SW 操作時	約 0
		上記以外	約 5

# バックドアオートクローザーシステム

端子番号	信号名称	測定条件	基準値 (V)
7	運転席ドアロック検出 SW 信号	運転席ドアロック時	約 5
		運転席ドアアンロック時	約 0
8	アース	—	約 0
10	クローザーモーターリターン出力信号	バックドア全開 → 半ドア → 全閉	 <small>SIIA1480J</small>

## 診断前点検

JIS002R1

バックドアオートクローザー用ヒューズを外し、バックドアが手動で正常に開閉操作できるか点検する。

**注意：** ハーフラッチ後、約 3 秒以内にフルラッチにならないと異常と判断し、クローザー作動を中止してドライブレバーは中立位置に戻る。3 回連続してこの作動が行われた場合はオートクローザーの機能を停止するのでオートクローザー、バックドアオープナー SW 共に作動しなくなる。その場合はヒューズを抜き差しするなどして電源のリセットを行うこと。

## 現象別故障診断

JIS002R2

現象	不具合系統	参照
オートクローザーが作動しない	クロージャー C/U 電源及びアース回路系統	(BL-62)
	ハーフラッチ SW 系統	(BL-63)
	クロージャーモーター系統	(BL-64)
	上記系統が正常な場合、オートクロージャー C/U 不良	—
バックドアが開かない (クロージャーモーターが反転作動しない)	OPEN SW 系統	(BL-65)
	CLOSE SW 系統	(BL-66)
	運転席ドアロック検出 SW 系統	(BL-67)
	上記系統が正常な場合、オートクロージャー C/U 不良	—
オートクロージャーは作動するが、バックドアが全閉位置にならない	クロージャーモーター系統	(BL-64)
	バックドアロック ASSY メカニカル不良	—

## クロージャーコントロールユニット電源及びアース回路系統点検

JIS002R3

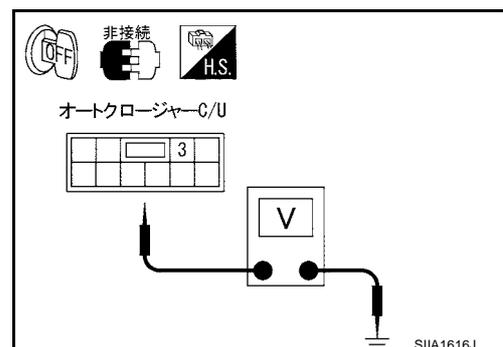
### 1. 電源回路点検

1. オートクロージャー C/U のコネクターを外す。
2. オートクロージャー C/U 車両側コネクター 3 番端子 ~ ボディーアース間の電圧点検を行う。

3 ~ ボディーアース : 約 12V

点検結果は OK か？

- OK          2 へ
- NG          オートクロージャー C/U 電源回路不良



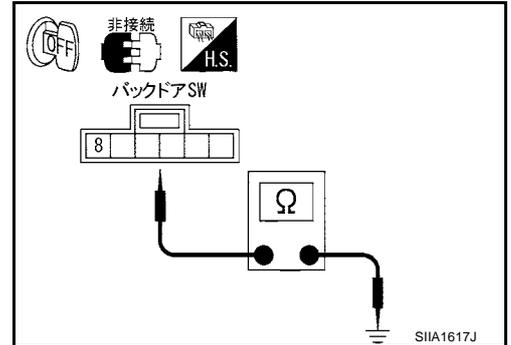
## 2. アース回路点検

オートクローザー C/U 車両側コネクタ 8 番端子 ~ ボディーアース間の導通点検を行う。

8 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

OK 正常  
NG オートクローザー C/U アース回路不良



## ハーフラッチスイッチ系統点検

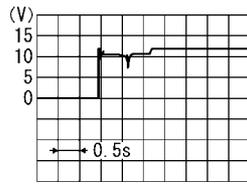
JIS002R4

### 1. ハーフラッチ SW 信号点検

バックドアを開 → 全閉させ、クローザー C/U 車両側コネクタ 2 番端子 ~ ボディーアース間の電圧点検を行う。

バックドア開 → 全閉

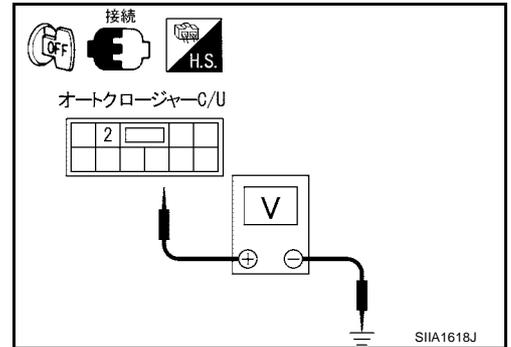
2 ~ ボディーアース



SIIA1479J

点検結果は OK か？

OK 正常  
NG 2 へ



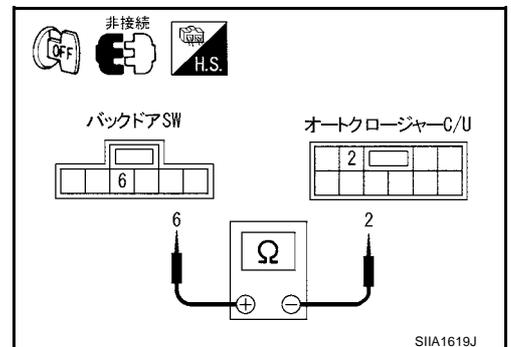
### 2. ハーフラッチ SW 回路点検

- バックドア SW 及びオートクローザー C/U のコネクタを外す。
- バックドア SW 車両側コネクタ 6 番端子 ~ オートクローザー C/U 車両側コネクタ 2 番端子間のハーネス導通点検を行う。

6 ~ 2 : 導通あり

点検結果は OK か？

OK 3 へ  
NG バックドア SW ~ オートクローザー C/U 間ハーネス不良



SIIA1619J

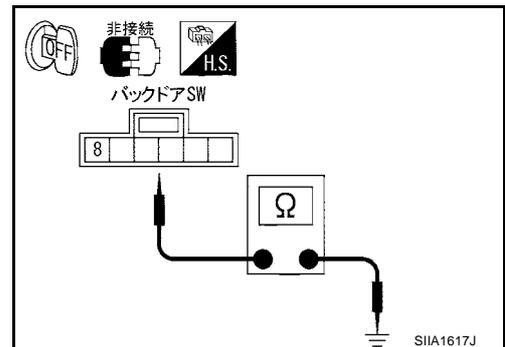
## 3. ハーフラッチ SW アース点検

バックドア SW 車両側コネクター 8 番端子 ~ ボディーアース間の導通点検を行う。

8 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

- OK        ハーフラッチ SW 不良 (固着)
- NG        バックドア SW ~ ボディーアース間ハーネス不良



## クローザーモーター系統点検

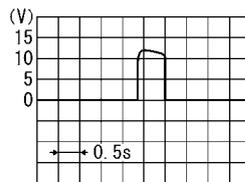
JIS002R5

### 1. クローザーモーター信号点検

- バックドアを全開 → 全閉させ、オートクローザー C/U 車両側コネクター 4、10 番端子 ~ ボディーアース間の電圧点検を行う。

バックドア全開 → 全閉

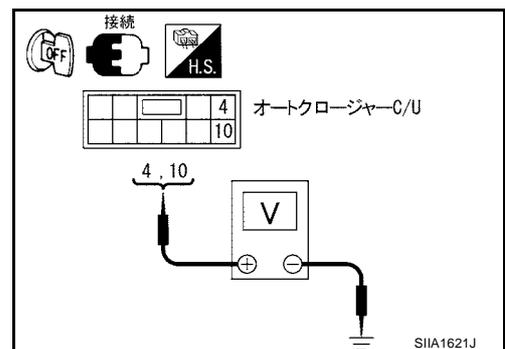
4(クローズ) ~ ボディーアース  
10(リターン) ~ ボディーアース



SIIA1480J

点検結果は OK か？

- OK        2 へ
- NG        オートクローザー C/U 不良



### 2. クローザーモーター回路点検

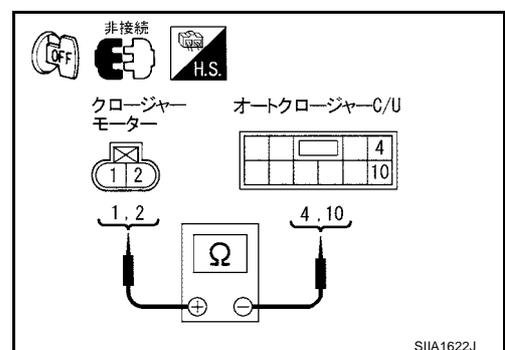
- クローザーモーター及びオートクローザー C/U のコネクターを外す。
- クローザーモーター車両側コネクター 1、2 番端子 ~ オートクローザー C/U 車両側コネクター 4、10 番端子間のハーネス導通点検を行う。

1 ~ 10 : 導通あり

2 ~ 4 : 導通あり

点検結果は OK か？

- OK        3 へ
- NG        クローザーモーター ~ オートクローザー C/U 間  
ハーネス不良



### 3. クロージャーマーター作動点検

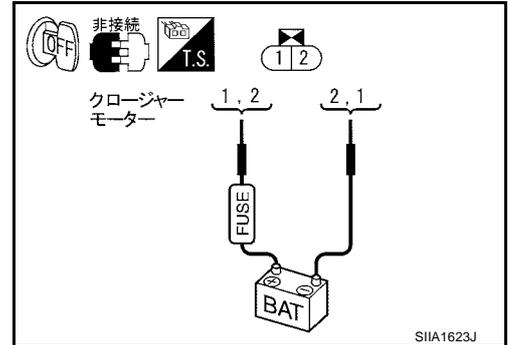
1. クロージャーマーターコネクタ1、2番端子間に、BAT電源を接続し、モーターの作動を点検する。

1(+)-2(-) : 作動する

1(-)-2(+): 作動する

点検結果はOKか？

OK 正常  
NG クロージャーマーター不良



### OPEN スイッチ系統点検

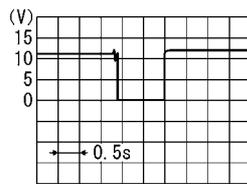
JIS002R6

#### 1. OPEN SW 信号点検

バックドアを全開 → 全閉させ、オートクロージャ C/U 車両側コネクタ 5 番端子 ~ ボディーアース間の電圧点検を行う。

バックドア開 → 全閉

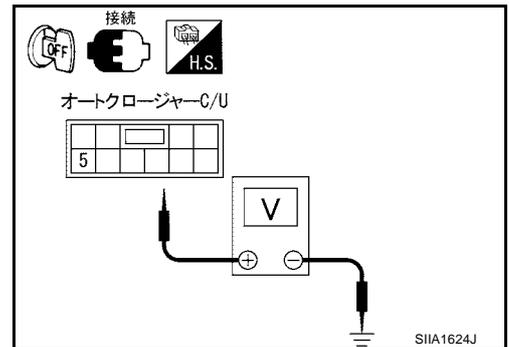
5 ~ ボディーアース



SIIA1481J

クロージャーマーター非作動時

5 ~ ボディーアース : 約 0V



SIIA1624J

点検結果はOKか？

OK 正常  
NG 2へ

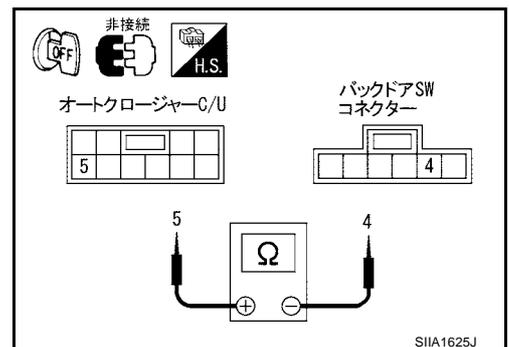
#### 2. OPEN SW 回路点検

1. オートクロージャ C/U 及びバックドア SW のコネクタを外す。
2. オートクロージャ C/U 車両側コネクタ 5 端子 ~ バックドア SW 車両側コネクタ 4 番端子間の導通点検を行う。

5 ~ 4 : 導通あり

点検結果はOKか？

OK 3へ  
NG オートクロージャ C/U ~ クロージャーマーター間  
ハーネス不良



SIIA1625J

# バックドアオートクローザーシステム

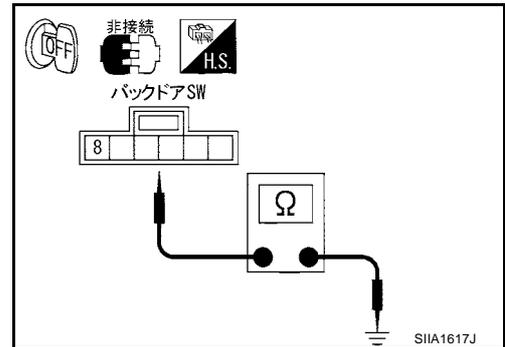
## 3. OPEN SW アース回路点検

バックドア SW の車両側コネクタ 8 番端子 ~ ボディーアース間の導通点検を行う。

8 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

- OK OPEN SW 不良 (固着)
- NG バックドア SW ~ ボディーアース間ハーネス不良



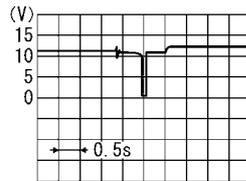
## CLOSE スイッチ系統点検

JIS002R7

### 1. CLOSE 信号点検

バックドアを全開 → 全閉させ、オートクローザー C/U ドア側コネクタ 1 番端子 ~ ボディーアース間の電圧点検を行う。

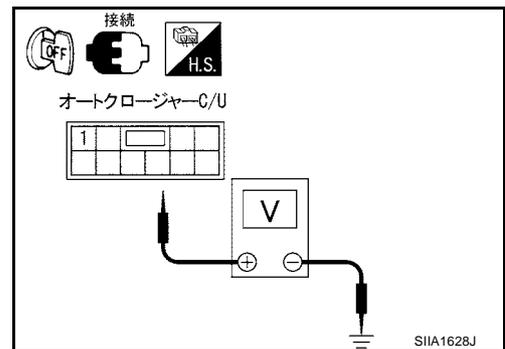
バックドア開 → 全閉  
1 ~ ボディーアース



SIIA1478J

点検結果は OK か？

- OK 正常
- NG 2 へ



SIIA1628J

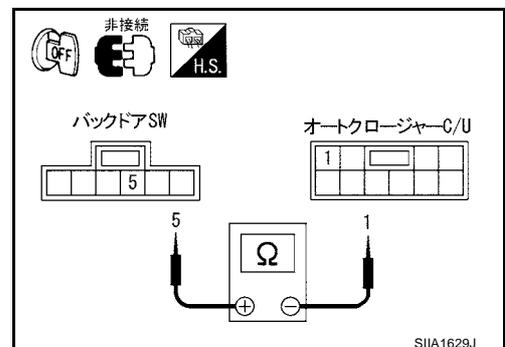
### 2. CLOSE SW 回路点検

1. バックドア SW 及びオートクローザー C/U のコネクタを外す。
2. バックドア SW 車両側コネクタ 5 番端子 ~ オートクローザー C/U 車両側コネクタ 1 番端子間のハーネス導通点検を行う。

5 ~ 1 : 導通あり

点検結果は OK か？

- OK 3 へ
- NG バックドア SW ~ オートクローザー C/U 間ハーネス不良



SIIA1629J

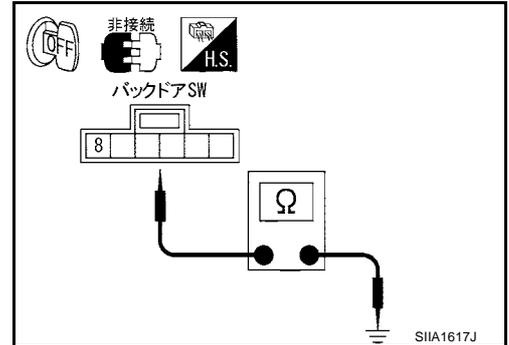
### 3. CLOSE SW アース回路点検

バックドア SW 車両側コネクタ 8 番端子 ~ ボディーアース間の導通点検を行う。

8 ~ ボディーアース : 導通あり

点検結果は OK か？

- OK CLOSE SW 不良 ( 固着 )
- NG バックドア SW ~ ボディーアース間ハーネス不良



### 運転席ドアロック検出スイッチ系統点検

JIS0032Q

#### 1. ドアロック作動点検

運転席ドアロックノブを操作し、集中ドアロックシステムが正常に作動するか確認する。

点検結果は OK か？

- OK 2 へ
- NG ドアロックシステムの点検を行う。(BL-11) へ

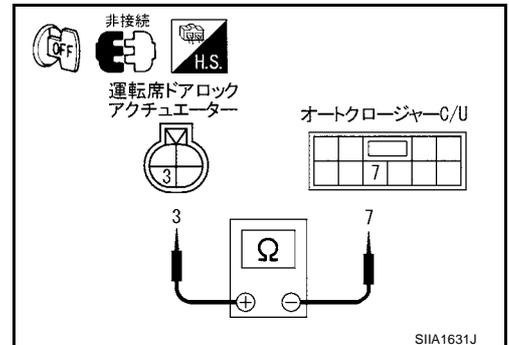
#### 2. 運転席ドアロック検出 SW 回路点検

1. 運転席ドアロックアクチュエーター及びオートクロージャ C/U のコネクタを外す。
2. 運転席ドアロックアクチュエーター車両側コネクタ 3 番端子 ~ オートクロージャ C/U 車両側コネクタ 7 番端子間のハーネス導通点検を行う。

3 ~ 7 : 導通あり

点検結果は OK か？

- OK 正常
- NG 運転席ドアロックアクチュエーター ( ドアロック検出 SW ) ~ オートクロージャ C/U 間ハーネス不良



A  
B  
C  
D  
E  
F  
G  
H  
J  
K  
L

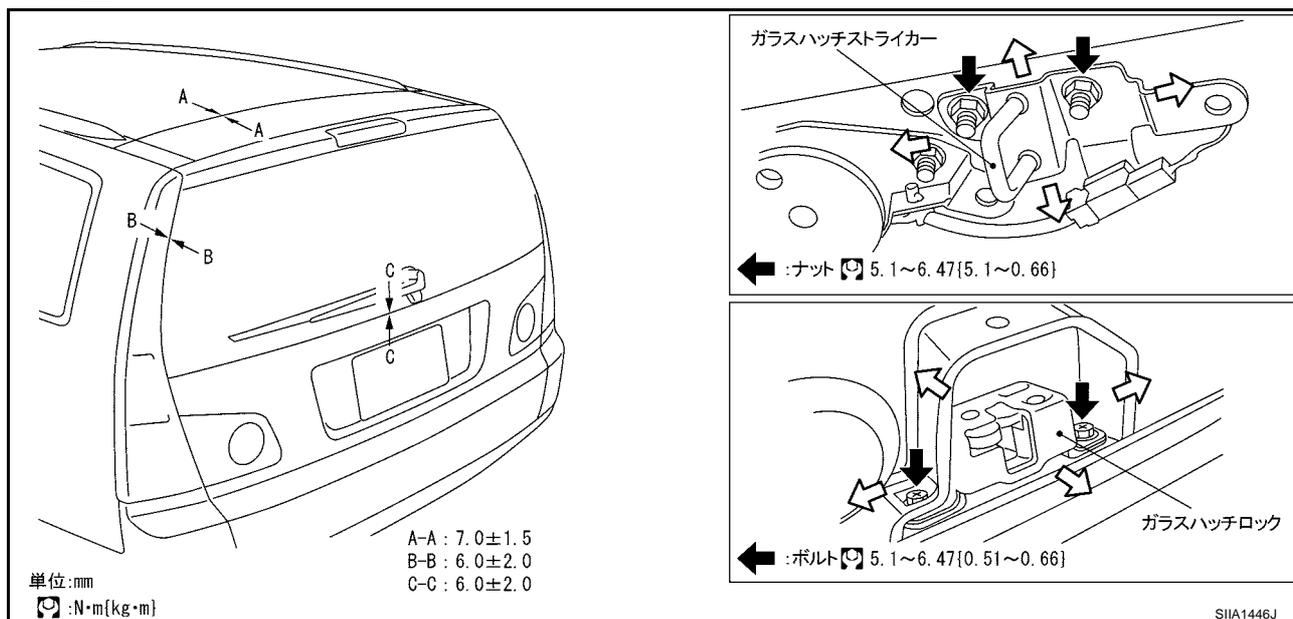
BL

ガラスハッチ

PF90550

建付調整

JIS0032T



上下、左右方向すき間（面差）調整

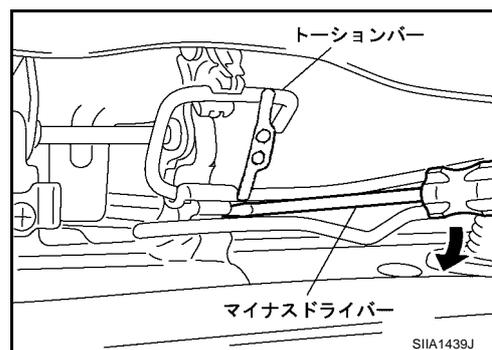
1. ストライカーを外した状態でガラスハッチフレーム取付ナットを緩め、ガラスハッチを閉じる。
2. 左右のすき間及びバックドアとのすき間を一定にした後、ガラスハッチを開け、取付ナットを規定トルクで締め付ける。

ガラスハッチ ASSY

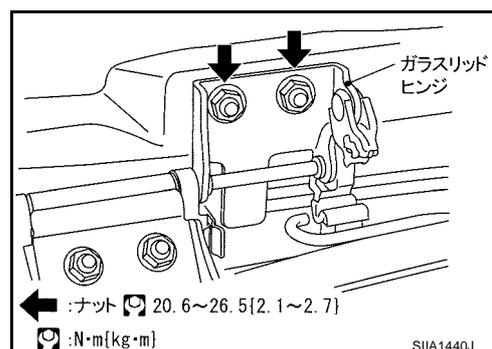
JIS0032U

取り外し

1. ガラスハッチ内の各コネクタを分離及びハーネスのクランプを外し、ガラスハッチハーネスを車両から引き抜く。
2. ガラスハッチストライカー部に支持材等を当て、落下防止を行った後、ガラスハッチトーションバーを外す。  
**注意:** トーションバーを外したとき、トーションバーの反力により周りのパネルを傷つける可能性があるため、脱着の際はウエス等で周りのパネルを保護すること。



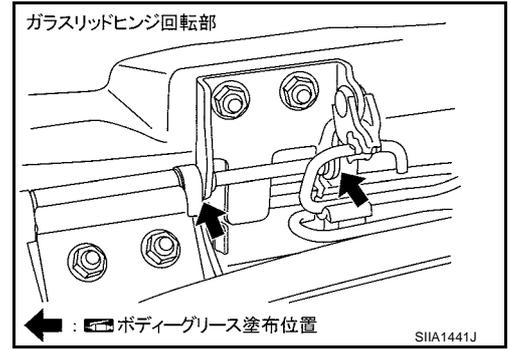
3. ガラスハッチフレーム側ヒンジ取付ナットを外しガラスハッチ ASSY を取り外す。  
**注意:** ・ ガラスハッチフレームとヒンジの合わせ部に防せいワックス「M-97 スーパー」を塗布する。



# ガラスハッチ

## 点検

1. ヒンジの以下の項目を点検する。
  - ・異音又は開閉の重さ
  - ・構成部品の摩耗、損傷
2. ヒンジ回転部は「ボディグリース」を塗布する。

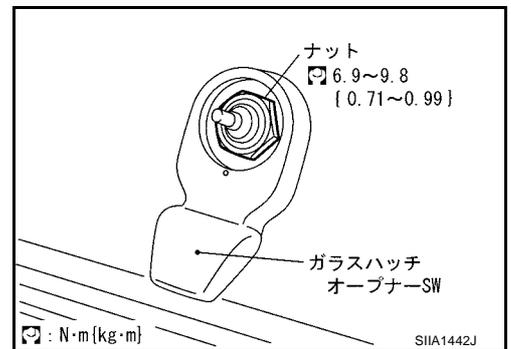


## ガラスハッチオープナースイッチ

JIS0032V

### 取り外し

1. ガラスハッチインナーフィニッシャーロアを取り外す。
2. ガラスハッチオープナースイッチのハーネスコネクタを取り外す。
3. リヤワイパーアームを取り外す。
4. 取付ナットを外し、ガラスハッチオープナースイッチを取り外す。



### 取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

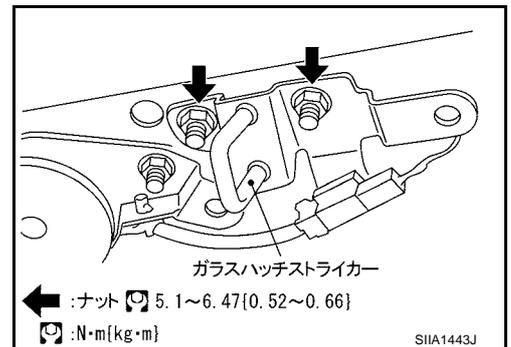
- 注意:**
- ・ 取付時、ハーネスのかみ込みに十分注意すること。
  - ・ 取付後、作動確認を行う。

## ガラスハッチストライカー

JIS0032Z

### 取り外し

1. ガラスハッチインナーフィニッシャーロアを取り外す。
2. 取付ナットを外し、ガラスハッチストライカーを取り外す。



### 取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

# ガラスハッチ

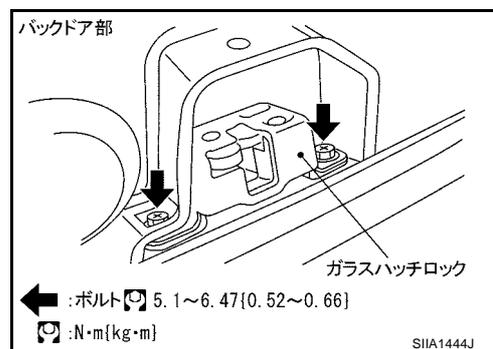
## ガラスハッチロック & アクチュエーター

JIS0032W

### 取り外し

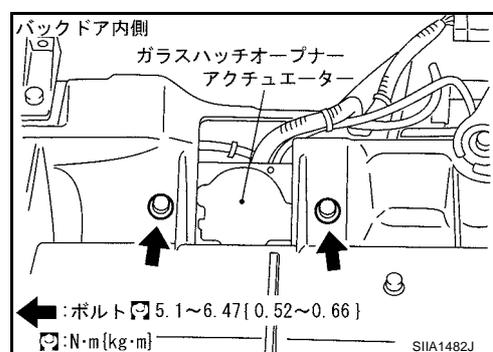
#### ガラスハッチロック

1. バックドアインナーフィニッシャーアッパーを取り外す。
2. 取付ボルトを外し、ガラスハッチロックを取り外す。



#### ガラスハッチオープナーアクチュエーター

1. バックドアインナーフィニッシャーアッパー及びロアを取り外す。
2. ハーネスコネクターを外す。
3. 取付ボルトを外し、ガラスハッチオープナーアクチュエーターを取り外す。



### 取り付け

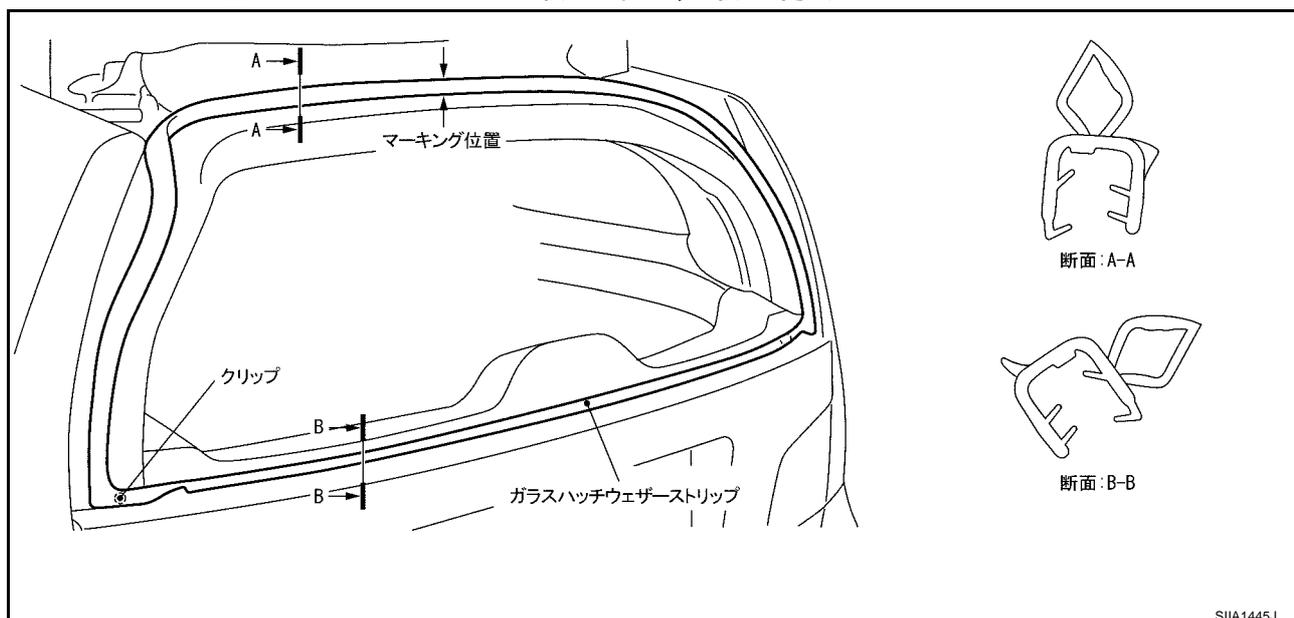
取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

**注意:** • 取付後、作動確認を行う。

- 取付後、建付調整を行う。[「建付調整」\(BL-68 ページ\)](#) 参照。

## ガラスハッチウェザーストリップの取り外し、取り付け

JIS0032Y



### 取り外し

ウェザーストリップの継ぎ目部より、車体とのかん合部を上側に引いて取り外す。

## ガラスハッチ

**注意：** 取り外す際は、ウエザーストリップを強い力で引っ張らないこと。

### 取り付け

取り付けは、取り外しの逆の手順で行う。

- 上側より車両中心ポジマークにウエザーストリップマーキングを合わせ取り付ける。
- 下側はストライカー中心にウエザーストリップ継ぎ目部を合わせる。
- ウエザーストリップを軽く引っ張って浮きのないことを確認する。
- 各コーナー部は確実に密着させること。

A

B

C

D

E

F

G

H

BL

J

K

L

# ガラスハッチオープナーシステム

PF9:90550

## システム概要

JIS002RH

- ガラスハッチオープナースイッチ操作により、ガラスハッチの開操作が可能。

## 作動概要

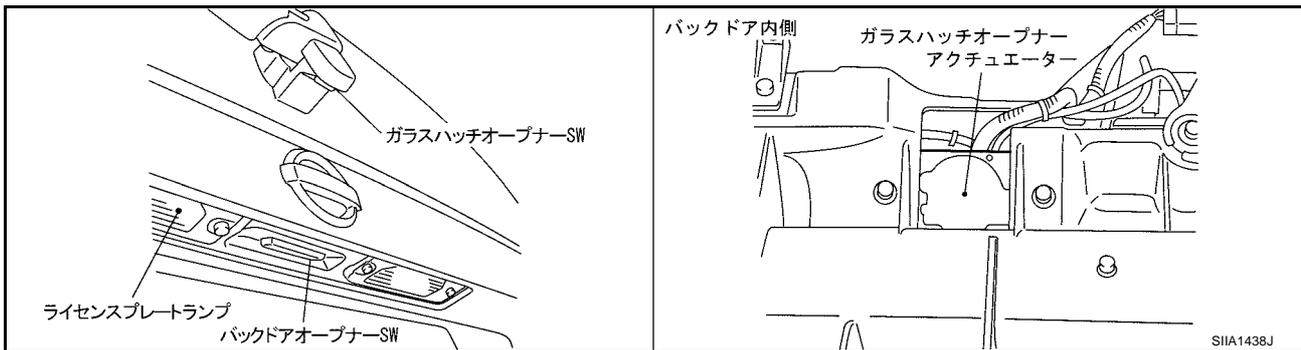
JIS002RI

### 開作動

- 運転席ドアロック検出：ON（ドアアンロック状態）時、ガラスハッチオープナースイッチ操作によりガラスハッチ開作動が可能。
- 運転席ドアロックがロック時、ガラスハッチオープナースイッチを操作してもガラスハッチは開作動しない。

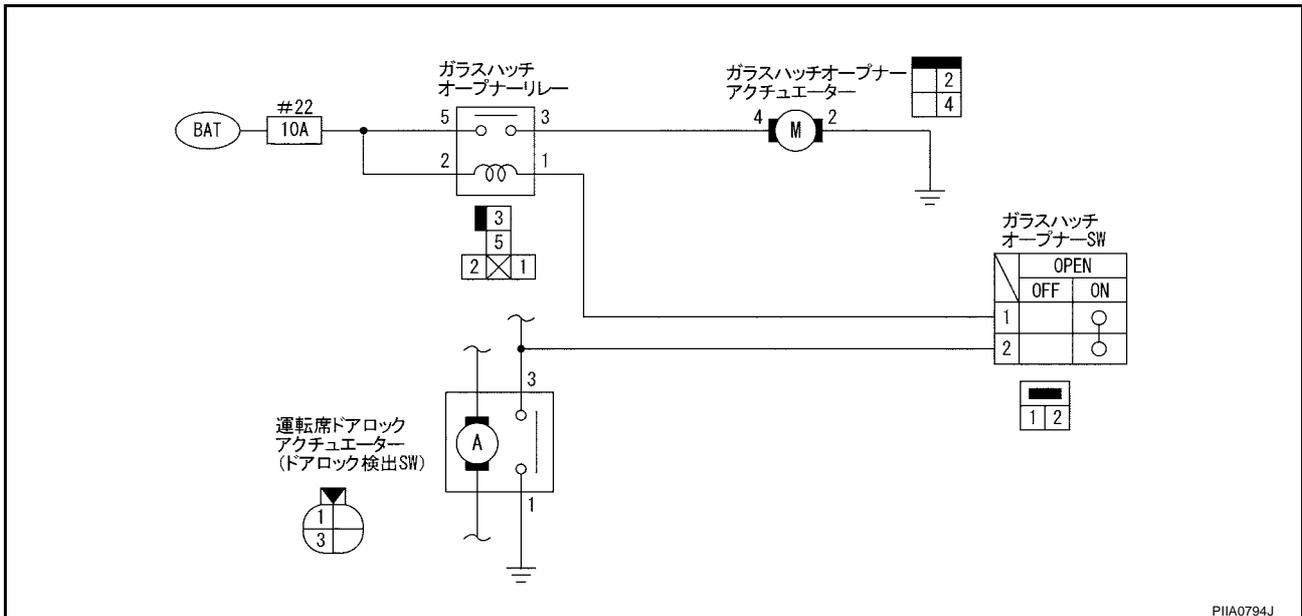
## 構成部品取付位置

JIS002RK



## 回路図

JIS002RL



## 故障診断

JIS0023R

下記点検を行う前に、ハーネス及びコネクター接続状態の点検を行う。

## ガラスハッチオープナーシステム

現象	不具合系統	推定不具合箇所
ガラスハッチオープナー SW 操作でガラスハッチが作動しない	ガラスハッチオープナーリレー系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ガラスハッチオープナーリレー不良</li> <li>• ガラスハッチオープナーリレー電源回路不良</li> </ul>
	ガラスハッチオープナーアクチュエーター系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ガラスハッチオープナーアクチュエーター不良</li> <li>• ガラスハッチオープナーアクチュエーターアース回路不良</li> <li>• ガラスハッチオープナーアクチュエーター～ガラスハッチオープナーリレー間ハーネス不良</li> </ul>
	運転席ドアロックアクチュエーター系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 集中ドアロックシステムが正常に作動するか点検する。</li> <li>• 運転席ドアロックアクチュエーター～ガラスハッチオープナー SW 間ハーネス不良</li> </ul>
	ガラスハッチオープナー SW 系統	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ガラスハッチオープナー SW 不良</li> <li>• ガラスハッチオープナー SW ～ガラスハッチオープナーリレー間ハーネス不良</li> </ul>

A

B

C

D

E

F

G

H

BL

J

K

L

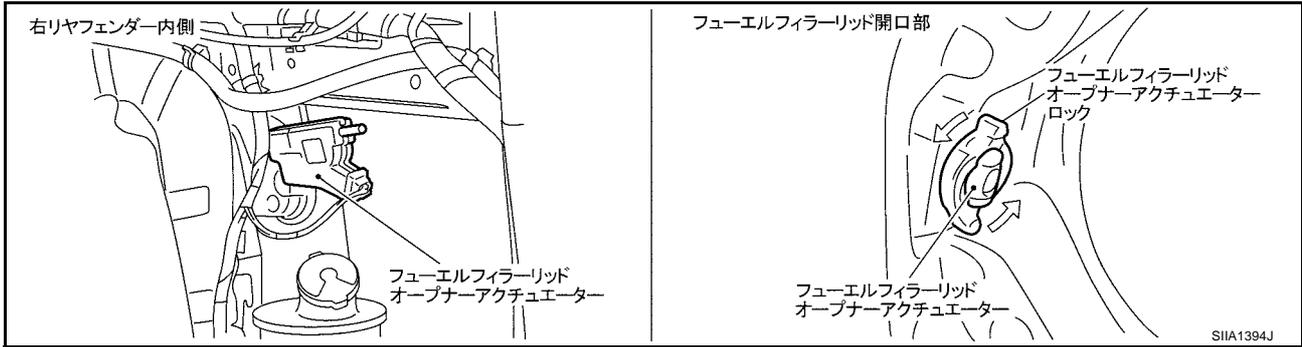
# フューエルフィルターリッド

## フューエルフィルターリッド

PPF:78820

### 構成部品取付位置

JIS002RC



参考：フューエルフィルターリッドの詳細については、「[集中ドアロックシステム](#)」(BL-11 ページ) を参照。